

消防年報

平成22年版

甲府地区広域行政事務組合消防本部

ま え が き

この年報は、平成22年中における甲府地区広域行政事務組合消防本部の諸資料を収録して今後の消防行政の参考とするとともに、甲府地区広域行政事務組合の実態を紹介することを目的に編さんしました。

諸表については暦年、予防統計については年度、予算・組織及び人事関係については平成23年4月1日現在をもって作成しました。

平成23年6月

甲府地区広域行政事務組合消防本部

構 成 市 町 章



甲府市



甲斐市



中央市



昭和町

目 次

1 沿 革

甲府地区広域圏の概要	1
山梨県内常備消防の位置	2
面積・人口・世帯数	2
消防のあゆみ	3
甲府地区消防の歌	9
管内情勢と消防情勢の推移	10
主な火災	12
消防相互応援協定等の状況	14

2 総務・企画

消防本部・消防署・出張所の配置	17
消防の組織	18
消防本部事務分掌	19
消防署事務分掌	24
組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較	27
平成23年度歳入歳出当初予算	27
消防庁舎の状況	28
消防車両及び小型動力ポンプ配置状況	32
消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況	32
消防車両一覧表	33

3 人 事

人事の概要	35
消防職員所属別配置状況	35
消防職員年齢状況	36
消防職員勤続年数	36
消防職員実員年別比較	36
消防職員教養	37

4 警 防

火災の概要・火災件数等の前年比較	39
------------------	----

市町別火災発生状況・年別火災発生状況	40
署別火災発生状況・月別火災発生状況	41
曜日別火災発生状況・時間別火災発生状況	42
曜日別火災発生状況（グラフ）時間別火災発生状況（グラフ）	43
原因別火災発生状況（グラフ）	44
消防水利一覧表	45
救急概要・救助概要	46
救急活動の前年比較	47
年別月別救急出場件数	48
消防署別・事故別救急出場件数・消防署別・月別救急出場件数	50
市町別救急出場件数	51
市町別事故種別救急出場件数・中央自動車道救急出場状況	52
年齢別事故種別搬送人員	53
傷病程度別男女別搬送人員	54
時間別救急出場件数	55
事故種別診療科目別搬送人員	56
1日平均救急出場件数の年別比較（グラフ）・曜日別救急出場状況（グラフ）	57
覚知別救急出場件数・上級・普通・基礎救命講習受講者数	58
救助活動の前年比較	59
市町別事故種別救助出場件数	60
市町別月別救助出場件数	61
曜日別事故種別救助出場件数	62
時間別事故種別救助出場件数	63

5 予 防

予防行政の概要	65
指定防火対象物状況	67
指定防火対象物階層状況	68
建築同意棟数状況	69
建築同意した棟数及び面積	70
防火対象物予防査察実施状況	71
消防用設備等設置状況	72
各種届出検査・願出調査等処理状況	73
危険物施設年度別・部署別事務処理状況	74
危険物施設市町別設置状況	75
危険物施設年度別・部署別設置状況	76
危険物製造所等部署別査察実施状況	77
防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況	78

広報活動の概要	79
幼年消防クラブの目的	79
女性防火クラブの目的	79
幼年消防・女性防火クラブの現況	79
防災教室実施状況	80
庁舎・施設等の見学状況	80
消防音楽隊の概要	81

6 通 信

通信業務の概要	83
通信系統図	84
消防指令センター系統図	85
移動無線局配置表（消防波）	86
携帯無線局配置表（消防波）	87
移動無線局配置表（救急波）	88
緊急通報装置（ふれあいペンダント）通報システム図	88
緊急通報装置（ふれあいペンダント）市町別設置状況	89
受信センター市町別受信状況	89
119番等受信状況	90
一般電話・IP電話・携帯電話等からの119番等受信状況	91
気象状況	92

7 消 防 団

消防団の概要	93
消防団員年齢構成	93
消防団員数及び機械一覧表	94
消防団員教養	95
消防ポンプ自動車性能一覧表	96
小型動力ポンプ性能一覧表	97

1

沿 革

- 甲府地区広域圏の概要
- 山梨県内常備消防の位置
- 面積・人口・世帯数
- 消防のあゆみ
- 甲府地区消防の歌
- 管内情勢と消防情勢の推移
- 主な火災
- 消防相互応援協定等の状況

甲府地区広域圏の概要

この圏域は、首都圏の西部に位置し、関東地方とは秩父連峰及び御坂山塊によって隔離され、西には南アルプス連峰、北には八ヶ岳や金峰山を望む、甲府盆地の中央部にあり、圏域は南北41.5km、東西15kmと非常に細長く、面積は306.45km²であります。消防行政は、県都である甲府市を中心に、甲斐市（合併前の竜王町及び敷島町の区域）、中央市、昭和町の3市1町で組織する組合により執行しており、管轄人口は305,714人を数えます。

地勢は、盆地に集まる河川による扇状地であり、西に釜無川、東に笛吹川、中央部は秩父山系に源を発する荒川、南に御坂山系の黒岳に源を発する芦川からつながる寺川が流れ、これらの河川は圏域南部で合流し、日本三大急流の一つである富士川となって駿河湾に注いでいます。

圏域北部は秩父山系の主峰「金峰山」（2,599m）の嶺界から南下する山脈が連なり、茅ヶ岳、黒富士、水ヶ森等の山岳の裾野が延び、南部は御坂山系の王岳、釈迦岳等があり、これらの高地又は丘陵地が圏域の59%を占め、集落、市街地及び耕地等の生活領域は南部河川地域の平坦地に広がっています。

圏域の中心市街地である甲府市は、武田氏によって構築され、江戸時代には、徳川幕府の直轄地として栄えるとともに城下町としても完成され、明治、大正、昭和の時代を経て、次第に近代的都市として形成されました。また、近年甲府市に隣接した甲斐市、昭和町、さらに中央市は人口の増加と市街化が進んでいます。

圏域内の交通は、このような地理的状况のもと、古くから甲州街道（国道20号線）を中心として国道52号線、同140号線、同358号線が集まり、さらに国道20号線を経て国道137号線にも通じ、地方道を含め甲府を中心に放射的に発達しています。また、昭和57年11月に中央自動車道西宮線が開通したことにより、京浜地域だけでなく中京・阪神地域が近距離となり、産業、観光に交通量は逐次増加し、中部横断自動車道の早期実現を期に交通網の大幅な発展が予想されます。

鉄道は、JR中央本線とJR身延線により首都圏、長野県及び静岡県に通じています。

圏域内の気候は、太平洋側気候に属した内陸気候であり、暖候期には風が弱く降水量は比較的多く、寒候期には「甲州の空っ風」と呼ばれる北西の季節風が強く、降水量は少なくなります。

気温は、平坦地の夏季は湿度が高いため蒸し暑く、山岳地域は高度差により変動が大きい。冬季は乾燥し寒さが厳しい盆地特有の気候です。

山梨県内常備消防の位置



面積・人口・世帯数

(平成23年4月1日現在)

種 別 市町別	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世帯数(世帯)
合 計	306.45	305,714	127,825
甲 府 市	212.41	197,460	85,544
甲 斐 市	53.08	59,102	23,634
中 央 市	31.81	31,687	11,501
昭 和 町	9.15	17,465	7,146

※甲斐市については、旧竜王町、旧敷島町の区域

※人口は外国人登録を含む。

消防のあゆみ

万治 3年	甲府市に火消組合が創設された。 これは山梨県における組織的消防の草分けである。火消組合は、総町人足600人をもって4組に分けて代官奉行4人を組頭とし、各組の長を設け人足150人をもって編成し、当時の消火は破壊消火と竜吐水であった。
享保 中	甲府町火消が火消人足988人で誕生した。
延享 中	甲府町火消が改組され、各町各主及び5人組頭が指図し、8町組、3町組、上府中組の3組とし、人足も294人に減じ、上鳶、中鳶の2種類編成とした。
天保 中	町火消初代組頭に内藤岩吉がなり、半纏を作り、統制ある町火消として甲府の守護に任じた。
明治11年 3月	県令により消防規則が制定され、町火消は5番組制度となり各組は小頭、纏持ち、筒先、刺股、梯子、平夫からなり、全組を統制する頭取、副頭取を置き、腕用ポンプを購入し、冷却消火への転換期を迎えた。
明治27年 2月	勅令15号をもって消防規則が発令され、甲府市消防組を設け一組四部制に分けた。各部には組頭1名、小頭3名、消防手30名の計133名で編成し、その諸経費はすべて市において負担し、警察の指揮監督の下に消防活動を行うことになった。これが公設消防の始まりであった。
明治30年	時代の推移に伴う市民の要望と、消防幹部の努力により「常備消防部」が創設され、蒸気ポンプと機関士他1名を常置した。
昭和 3年 9月	甲府市消防設置規程を公布、市中央部の甲府警察署構内に甲府市消防所を設置した。 (人員7名)
昭和 7年10月	市の北部(白木町)、西部(西青沼町)の2箇所(共に戦後廃止)に常備消防所の出張所を新設した。(人員16名)
昭和14年 1月	勅令20号で消防団令が公布され、甲府市消防組を廃止し、甲府市警防団2,568人で結成した。これは戦時下における防空防火の重大な役割を果たした。
昭和22年 4月	勅令をもって消防団令が公布され、翌23年消防団条例を制定、団長以下1,702名をもって改組した。同27年4月機械化と待遇改善のため人員を整理し、団長以下893名、15分団に編成替した。
昭和22年 9月	町村合併により西部に貢川出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和22年12月	法律第226号をもって消防組織法が制定公布され、同23年3月施行となり警察より分離し、新制度の消防が完全に市町村の機関となった。
昭和23年 3月	市南部に湯田出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和23年 7月	法律第186号をもって消防法が公布され、同9月施行となり消防長以下37名、ポンプ車5台、その他1台をもって甲府市消防本部が開設され、自治体として甲府市消防の面目が一新した。
昭和23年 8月	市北部に湯村出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和27年 7月	消防本部庁舎が落成、竣工式典が行われた。 鉄筋コンクリート造2階建、望楼6階建(高さ21.9m、延べ面積570㎡)
昭和29年10月	消防団においては、町村合併促進法によって隣接10箇村の編入合併により7分団を加え一躍22分団1,397名、機械力も三輪車4台、可搬式動力ポンプ11台を増置した。
昭和30年 6月	市北部遠隔地の災害発生時の連絡のため、基地局及び移動局の中短波無線機を設置した。
昭和30年12月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ車(1台)の寄贈を受けた。
昭和32年12月	消防の機動力を強化するため無線付消防ポンプ車(ジープ型)(2台)を新規に配置した。
昭和33年 4月	消防団において、東分団を新設し23分団に陣容を整えた。
昭和33年 5月	非常時の人命救助を目的とした救急業務を実施することになり、本署に救急車を配置し、業務を開始した。

昭和34年12月	中継送水用第1ポンプ車として大型ポンプ車を購入した。
昭和35年 4月	本部の組織改革を行い、総務課・警防課及び消防署の2課1署制を実施した。
昭和36年 1月	高層建築物の人命救助、火災防ぎょ活動に万全を期するため17m級梯子付消防車（1台）を購入した。
昭和36年10月	消防体制の確立を図るため消防職員を106名に増員した。
昭和37年 4月	急速に進展している東部地域の防火体制強化のため、甲府市消防署東部出張所を新設した。
昭和38年11月	激増する交通事故に対処するため東部出張所へ救急車（1台）を配置した。
昭和39年 4月	消防職員を109名に増員した。
昭和39年12月	市南西部に設置してある貢川出張所の改築を行い、防災拠点としての整備を図った。
昭和40年 4月	消防職員を112名に増員した。
昭和40年 7月	消防署の組織改革を行い湯田出張所を消防署に昇格させ、責任体制を明確化にし、2課2署（丸の内・湯田）制に改革した。
昭和40年11月	科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため新鋭化学消防車（1台）を購入し、丸の内消防署に配置した。
昭和41年 7月	湯田消防署管内の救急業務に万全を期するため救急車（1台）を配置した。
昭和42年 9月	甲府市防災対策業務を主管する防災課を新設し、本部の機構を3課2署制に改革した。
昭和42年10月	本部総務課に火災現場等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため無線付司令車を配置した。
昭和43年12月	高層建築物災害に対処するため32m級梯子付消防車（1台）を購入し、丸の内消防署に配置した。
昭和45年 3月	消防職員を116名に増員した。
昭和45年 4月	湯田消防署の改革を行い、益々発展しつつある南部の防火体制確立のため17m級梯子付消防車を配置し、湯田消防署の充実を図った。
昭和45年 8月	隣接5町村の救急業務の委託を受け実施するとともに広域救急体制の確立のため貢川出張所に救急車を配置した。
昭和45年 9月	本部警防課を予防担当（課）・警防担当（課）に分割独立させ責任体制の確立と予防行政の強力な推進を図った。これにより本部機構を4担当（課）2署制とした。
昭和45年10月	消防署の組織改革を行い、係長制度を採用した。 甲府市消防団の少数精鋭化と処遇改善のため団員の削減を行い、団長以下1,020名に編成した。
昭和46年 1月	甲府市消防団朝日分団を分割して北新分団を新設し、消防団の整備を図り24分団に編成した。
昭和47年 4月	消防職員を126名に増員した。
昭和48年 4月	甲府市他5町村による「甲府地区広域行政事務組合消防本部」が発足した。 職員定数を215名とする。 区域：甲府市、竜王町、敷島町、玉穂村、昭和町、田富町 署所：1消防本部、2消防署、3出張所 車両：消防ポンプ車（7台）、水そう付消防車（2台）、化学消防車（1台）、梯子付消防車（2台）、救急車（4台）、司令車（1台）、広報車（1台）、連絡車（1台）、作業車（1台）（甲府市から借用） 職員：122名（甲府市から職員を派遣）
昭和48年 6月	消防職員を133名に増員した。
昭和49年 2月	消防職員を153名に増員した。
昭和49年 3月	消防職員を169名に増員した。
昭和49年 4月	広域消防の実働開始に伴い消防本部の組織改革を行い、次長制度の採用及び特別救助隊を設置し、消防施設、車両及び通信施設を完備した。 消防職員を181名に増員した。さらに職員の教育機関として教育隊を西消防署に開設した。

		署所の新設：西消防署（竜王町）、武田出張所（甲府市）、国母団地出張所（昭和町）、 敷島出張所（敷島町）、田富出張所（田富町）、宮本分遣所（甲府市）
		車両の購入：消防ポンプ車（五台）、水そう付消防車（１台）、救助工作車（１台）、 救急車（２台）、連絡車（２台）
		通信施設の整備：一斉指令装置（１基）
昭和４９年	１２月	甲府市消防団・竜王町消防団・敷島町消防団・玉穂村消防団・昭和町消防団・田富町消防団 をもって山梨県消防協会甲府地区支部を結成した。
昭和５０年	３月	消防本部庁舎の増築を行い、災害時における防災拠点として完成した。
昭和５０年	４月	消防本部の組織改革を行い、消防行政の積極的な推進を図るため消防相談所を開設した。 消防職員を１９１名に増員した。
昭和５０年	１０月	高層建築物の人命救助体制確立のため各種救助器具を装備した４１ｍ級梯子付消防車（１台） を購入し中央消防署へ配置し、中央消防署の３２ｍ級梯子付消防車を西消防署へ配置換えを 行った。
昭和５１年	３月	複雑多様化する災害対処するために新鋭化学消防車（１台）を購入し、国母団地出張所へ配 置した。
昭和５１年	４月	消防本部の組織改革を行い、次長制度を廃止し広報課を新設した。 消防音楽隊規程を制定し、隊長以下１９名を以て発足した。 消防職員を２０６名に増員した。
昭和５１年	１１月	予防行政の推進を図るため予防査察車（１台）を購入した。
昭和５２年	１月	消防業務の執行体制を強化するため消防副士長制度を設けた。
昭和５２年	４月	消防職員を２１７名に増員した。
昭和５２年	１０月	甲府市消防団千塚分団を分割し羽黒分団を新設し、２５分団に編成した。
昭和５３年	１月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（１台）と多数傷病者事故対策のため緊急輸送車（１ 台）の寄贈を受けた。
昭和５３年	３月	水利不足地域の水利確保のため大型水そう車（１０，０００ℓ）（１台）を購入し、中央消 防署へ配置した。
昭和５３年	４月	組合消防発足５周年記念式典を挙行し消防本部旗を樹立し、甲府地区消防の歌を制定した。 消防職員を２２２名に増員した。
昭和５３年	１１月	東部方面の防災拠点として甲府市和戸町に東部出張所を移転新築した。
昭和５３年	１２月	広報業務推進を図るため広報車（１台）購入した。
昭和５４年	３月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（１台）の寄贈を受けた。
昭和５５年	３月	中央自動車道西宮線（甲府昭和ＩＣ～韮崎ＩＣ）の救急業務を行うため新鋭救急車を西消防 署へ配置した。
昭和５５年	４月	消防本部の組織改革を行い、通信指令室を新設した。 消防職員を２３０名に増員した。
昭和５６年	４月	消防職員を２４０名に増員した。
昭和５６年	１０月	特殊災害対策用として新鋭救助工作車（１台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和５７年	４月	消防本部、消防署の組織改革を行い、人事教養課を新設し、中央消防署宮本分遣所を出張所 に昇格させた。 消防職員を２４８名に増員した。
昭和５７年	１０月	消防音楽隊規程の改正を行い、定員を３３名に増員した。
昭和５８年	４月	消防職員を２５６名に増員した。
昭和５８年	１１月	組合消防発足１０周年記念式典を挙行した。
昭和５９年	３月	市街化が進む西部方面の防災拠点の整備を図るため貢川出張所の新築を行った。
昭和５９年	４月	消防本部、消防署の組織改革を行い、消防本部に次長制を新設し、中央消防署に副署長を置 き指揮命令系統の確立と事務の効率化を図った。 広報課に音楽隊係を設置した。 消防職員を２６３名に増員した。

昭和59年11月	災害現場における隊員の安全と活動の効率を期すため照明電源車（1台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和59年12月	広域南部の消防力の強化充実を図るため玉穂村に南消防署玉穂出張所を新設し、消防ポンプ車（1台）を配置した。
昭和60年 4月	玉穂村に町制が施行され玉穂町となる。 消防本部に国民体育大会の消防警備等の万全を期すため国体消防警備課を新設した。 消防職員を266名に増員した。
昭和60年12月	広域南西部の消防力の強化充実を図るため国母団地出張所を昭和町に移転新築し、南消防署昭和出張所とした。
昭和61年 3月	高層ビル災害に備えて、新鋭高所作業用消防車S AスカイアームΣ16（1台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和61年 4月	消防署の組織改革を行い毎日勤務の査察指導係を隔日勤務とし、事務の効率化を図った。 消防職員を271名に増員した。
昭和61年 8月	消防隊員の緊急輸送及び多数傷病者発生事故対策のため隊員輸送車（1台）を購入した。
昭和61年12月	第41回国民体育大会及び第22回身体障害者スポーツ大会の終了により国体消防警備課を廃止した。 広域北西部の防災拠点の整備を図るため中央消防署湯村出張所の移転新築を行った。 消防職員を274名に増員した。
昭和62年 4月	南、西の各消防署に副署長を置き指揮命令系統を確立し、事務の効率を図った。
昭和62年10月	30m級梯子付消防車（4輪操舵、傾斜きょう正装置付）（1台）を西消防署へ配置した。
昭和62年12月	消防職員を279名に増員した。
昭和63年 4月	消防防災拠点の整備を図るため甲府市伊勢三丁目地内に消防本部、南消防署を移転新築した。 複雑多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するため通信指令室に消防緊急情報システムを導入した。
平成 元年 3月	消防本部の組織改革を行い、通信指令室を指令課に改め、広報課を廃止し総務課内に広報担当を設置した。 消防職員を284名に増員した。
平成 2年 3月	特殊災害対策用として新鋭救助工作車（1台）を購入し、南消防署へ配置した。
平成 2年 4月	消防本部の組織改革を行うため人事教養課を職員課に改め、総務課広報担当を廃止し、指導広報課を新設した。 消防署の組織・業務執行体制の強化を図るため次席制度を廃止し、消防課長制を導入した。 広域救助活動体制の充実を図るため中央消防署に特別救助隊（兼務）（1隊）を配置した。 消防職員を287名に増員した。
平成 3年 3月	高齢化社会が急速に進展する中で、災害弱者である65歳以上の一人暮らし老人の安全を守るため「ふれあいペンダント」（緊急通報システム）を導入した。
平成 3年 7月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（1台）の寄贈を受けた。
平成 4年 4月	消防本部の組織・業務執行体制の強化を図るため次長制を廃止し、副消防長を配置した。 救急救命士第1号誕生
平成 5年 4月	消防本部・消防署の組織改革を行い職員課、指導広報課をそれぞれ人事課、広報課に改め、予防課に査察係を新設し、消防署の隔日勤務の予防係を毎日勤務に、毎日勤務の庶務係を隔日勤務とし、事務の効率を図り、中央消防署の特別救助隊に専任の隊長を配置し、広域救助体制の強化を図った。
平成 6年 2月	新鋭の高規格救急車（1台）を購入し、運用を開始した。
平成 6年 4月	消防署の組織改革を行い予防及び査察事務執行体制の充実強化を図るため、予防課長を配置するとともに隔日勤務の査察指導係を毎日勤務とした。 消防職員を295名に増員した。
平成 7年 1月	在宅の一人暮らしの重度身体障害者の安全を確保するための在宅障害者緊急通報システムを加えた。

平成 7 年 3 月	新鋭の高規格救急車（1 台）の寄贈を受け、中央消防署へ配置した。
平成 7 年 4 月	西消防署に配置している水そう車を更新した。
平成 8 年 4 月	広域南西部の消防力の充実強化を図るため南消防署田富出張所の移転新築を行った。 消防職員を 301 名に増員した。
平成 8 年 12 月	高校総合体育大会の消防警備等に万全を期すため、警防課に高校総体係を新設した。 消防職員を 305 名に増員した。
平成 9 年 2 月	大規模災害発生時の偵察・情報収集活動を行うため震災用オートバイ（3 台）を購入し、各消防署に配置した。
平成 9 年 3 月	署所の適正配置を図るため、中央消防署を移転新築した。
平成 9 年 4 月	緊急消防援助隊の救助隊登録部隊として、救助工作車Ⅲ型（1 台）を購入し南消防署に配置し、中央消防署に配置している化学消防車Ⅱ型（1 台）を購入し、更新した。
平成 9 年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い人事課教養係を人事課教育研修係に改め、高校総合体育大会終了に伴い警防課高校総体係を廃止した。 消防署課長制を廃止し、次席を配置した。東部、田富、敷島の各出張所救急隊に隊長を配置した。
平成 10 年 2 月	緊急消防援助隊の救急隊登録部隊として、災害対応救急自動車（1 台）及び高度救命処置用資機材を購入し、西消防署に配置した。 西消防署に配置している化学消防車Ⅲ型（1 台）と南消防署玉穂出張所に配置している消防ポンプ車（1 台）を更新した。
平成 10 年 3 月	広域北西部の防災拠点として、西消防署敷島出張所を移転新築した。
平成 11 年 2 月	西消防署敷島出張所に配置している消防ポンプ車（1 台）を更新した。
平成 11 年 3 月	緊急消防援助隊の後方支援部隊として、支援車（1 台）及び援助隊支援資機材を購入し、消防本部に配置した。 消防本部敷地内に車庫兼倉庫を新築した。
平成 11 年 5 月	消防本部、消防署の組織改革を行い消防署の消防次席を警防次席に、専門主任を主任に、本部予防課査察係を査察指導係に、消防署査察指導係を査察係にそれぞれ改めた。 救急救命需要の増加に伴い的確な応急処置指導が行えるよう指令課に救急救命士を配置した。
平成 12 年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い副消防長制を廃止し、本部統括と消防署統括の次長制にし、企画調整を図るため本部に主幹を配置し、救急業務の高度化と防火防災意識の積極的な推進を図るため広報課を防災救急課に改め、火災原因究明の迅速な対応をするため警防課調査係を第 1 係、第 2 係に分割した。
平成 13 年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い本部主幹を企画主幹に改め、消防長の指定する企画調整事務を担当し、組織の強化を図った。 消防署の警防係に主査を配置した。西消防署に特別救助隊長を配置し広域救助体制を強化した。
平成 13 年 12 月	中央消防署に配置している高規格救急車（1 台）を更新した。
平成 14 年 2 月	急増する救急事案に対応するため南消防署昭和出張所、玉穂出張所に救急自動車（各 1 台）を配置した。
平成 14 年 3 月	西消防署貢川出張所に配置している消防ポンプ自動車（1 台）を更新した。
平成 14 年 4 月	消防本部の情報ネットワークの構築により財務会計システム及びグループウェアを運用を開始し、総務課経理係と管財係を統合し財務係とし、情報管理等を推進するため企画係と緊急消防援助隊のスムーズな活動を行うため緊急消防援助隊係を新設した。
平成 14 年 11 月	西消防署敷島出張所に配置している救急自動車を高規格救急車（1 台）に更新した。
平成 14 年 12 月	中央消防署に配置している救助工作車（1 台）を更新した。
平成 15 年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い指令課に消防総合情報管理システムを構築するため情報管理係を新設し、南消防署特別救助隊に副隊長を配置し広域救助体制の強化を図った。
平成 15 年 9 月	甲府地区消防本部のホームページを開設した。

平成15年12月	南消防署田富出張所に配置している高規格救急車（1台）の更新した。
平成16年 1月	中央消防署に水槽付消防ポンプ車（1台）を購入し、配置した。
平成16年 4月	消防本部の組織改革を行い企画課を新設し、総合的企画を担当し、指令課情報管理係を企画係に統合した。 平成15年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（甲府市小瀬会場）の終了により緊急消防援助隊係を廃止した。
平成16年 9月	中巨摩郡竜王町、同敷島町及び北巨摩郡双葉町の3町合併により「甲斐市」となる。
平成17年 2月	西消防署に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成17年 3月	複雑多様化する災害に対応するため最新鋭のコンピュータと最新の通信機器を駆使して「高機能消防指令センター」を整備した。
平成17年 4月	消防本部の組織改革を行い総務課に主幹を配置し、組織構成市町の配置分合に伴う広域消防のあり方、消防救急無線のデジタル化等調査研究を担当し、防災救急課を廃止して、救急救助係を警防課に移設、防災広報係を予防課査察指導係に統合し、また、各消防署に調査係を配置した。
平成17年11月	中央消防署東部出張所に配置している救急車を高規格救急車に更新した。 南消防署に配置している高規格救急車（1台）及び同署昭和出張所に配置している消防ポンプ車（1台）を更新した。
平成17年12月	甲府地区広域行政事務組合職員定数条例（消防職員）を305名から335名に改めた。
平成18年 1月	甲府地区広域行政事務組合消防計画を策定した。
平成18年 2月	中巨摩郡田富町、同玉穂町及び東八代郡豊富村の2町1村が合併し「中央市」となる。
平成18年 3月	中道町及び上九一色村北部地域が甲府市に編入合併した。 携帯電話からの119番通報の受信方法を分散受信方式から直接受信方式に切り替えた。
平成18年 4月	市町村合併に伴い、旧豊富村、旧中道町及び上九一色村北部を当消防本部の管轄区域とした。 中道出張所（所員8名、水槽付ポンプ車1台、高規格救急車1台）を開設した。 消防職員を実員309名に増員した。 消防本部の組織改革を行い、責任、権限をこれまで以上に明確にするため、次長を5名とした。また、総務課の主幹を企画課に配置換えし、予防課に広報係を配置した。 圏域北部地域の恒久的な防災拠点として、中央消防署本庁舎新築工事に着工した。
平成18年12月	片川昇氏より高規格救急車（1台）の寄贈を受けた。
平成19年 1月	南消防署に配置している、電源照明車（1台）を更新した。
平成19年 2月	中央消防署開署式を挙行了た。
平成19年 4月	消防職員を実員316名に増員した。
平成19年 5月	高部正男消防庁長官が地方消防行政視察のために来庁した。
平成20年 4月	消防職員を実員321名に増員した。 省令改正に伴う消防庁告示により、南消防署に「高度救助隊」（16名）を配置した。
平成20年10月	南消防署昭和出張所の救急隊を高規格化した。
平成21年 4月	消防職員を実員324名に増員した。
平成22年 1月	南消防署に仮設訓練塔を設置した。
平成22年 2月	西消防署に配置している高所作業車（1台）を更新した。（名称を屈折はしご車に改めた。）
平成22年 3月	南消防署中道出張所に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成22年 3月	消防指導支援用として防災指導車（1台）を購入した。
平成22年 4月	消防職員を実員326名に増員した。
平成22年 4月	南消防署昭和出張所の救急隊を専任救急隊とした。
平成22年 9月	中央消防署に仮設訓練塔を設置した。
平成22年12月	高圧ガス製造事業所が完成した。（南消防署昭和出張所敷地内）
平成23年 2月	中央消防署武田出張所・湯村出張所に設置している普通ポンプ車2台を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新した。

甲府地区消防の歌

「甲府地区消防の歌」は、昭和52年3月、職員からの応募によりつくられたものです。

この歌の精神に向かって職務に精励し、音楽を通じて地域住民との融和と職員の士気の鼓舞を図っております。

1 （勇気、行動）

炎が狂い風騒ぎ 命の重さ血が叫ぶ
おゝ身を挺す 甲府地区消防隊
ときこと風のごとくなり 武人のおしえ胸に抱く

2 （備え、士気）

紫玉の露にまどるめど 備えは常にうれいなく
おゝ意気高し 甲府地区消防隊
林のごとく静かなる 武田の里の夢を呼ぶ

3 （誇り、希望）

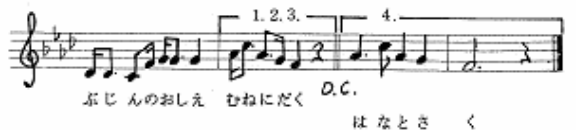
平和の四季を祈りつゝ 誇りに生きて仰ぐ富士
おゝ眉あげる 甲府地区消防隊
希望は燃える火のごとく 明日に映えて虹となる

4 （友情、団結）

ながれる涙ぬぐい合い
幸せわかつ面の微笑
おゝ腕を組む 甲府地区消防隊
動かざること山のごと 心のきずな花と咲く

甲府地区消防の歌

作詩・作曲
甲府地区消防本部
作詩協力 村山二永
作曲協力 一瀬公弘



管内情勢と消防情勢の推移

年別 区分		63年	平成 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
面 積 (km ²)		251.40	252.05	252.05	252.05	252.05	252.05	252.05	252.05	252.05	252.06	252.06
人 □ (人)		280,009	281,736	283,412	285,243	286,241	286,524	288,671	288,343	288,986	290,011	296,630
世 帯 数		94,757	96,478	98,192	100,062	101,474	103,973	105,222	106,105	107,541	109,233	110,991
消防 職員 数	条例定数	287	287	287	287	287	287	295	301	305	305	305
	実 員	279	284	287	286	288	288	295	299	303	304	306
消防 職員 一人 当 た り	面 積 (km ²)	0.90	0.89	0.88	0.88	0.88	0.88	0.85	0.84	0.83	0.83	0.82
	人 □ (人)	1,004	992	987	997	994	995	979	964	954	954	969
	世 帯 数	340	340	342	350	352	361	357	355	355	359	363
消防 車両 等 の 数	消防ポンプ車 (内予備車)	16 1	16 1	17 2	17 2	16 1	16 1	16 1	17 2	16 1	17 2	17 2
	救 急 車 (内予備車)	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1
	その他の車両	21	22	25	24	24	24	25	25	27	27	27
消防 ポン プ 車 一 台 当 り	面 積 (km ²)	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8
	人 □ (人)	18,667	18,782	18,894	19,016	19,083	19,102	19,245	19,223	19,266	19,334	19,775
	世 帯 数	6,317	6,432	6,546	6,671	6,765	6,932	7,015	7,074	7,169	7,282	7,399
火 災 件 数 (暦年)		134	120	138	115	136	129	133	247	212	199	159
救急出場件数 (暦年)		6,153	6,531	6,619	6,708	6,636	7,027	7,106	7,393	7,661	7,781	7,929

(各年の4月1日現在)

11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
252.06	252.42	252.42	252.42	252.42	252.42	252.42	306.45	306.45	306.45	306.45	306.45	306.45
295,114	297,721	296,589	296,904	296,826	296,204	294,885	307,597	304,839	306,651	307,206	299,527	305,714
111,715	112,948	114,183	114,967	116,011	116,687	117,479	123,630	123,477	125,609	127,120	127,398	127,825
305	305	305	305	305	305	305	335	335	335	335	335	335
306	306	305	305	304	305	304	309	316	321	324	326	323
0.82	0.82	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.99	0.97	0.95	0.95	0.94	0.95
964	973	972	973	976	971	970	995	965	955	948	919	946
365	369	374	377	382	383	386	400	391	391	392	391	396
17 2	17 2	16 2	16	16	16 1	16 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1
7 1	7 1	7 1	8	9 1	9 1	9 1	11 2	12 3	12 3	12 3	14 5	12 3
28	28	32	33	33	34	34	36	36	36	36	37	37
16.8	16.8	18.0	15.8	15.8	16.8	16.8	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9
19,674	19,848	21,185	18,557	18,552	19,747	19,659	21,971	21,774	21,904	21,943	21,395	21,837
7,448	7,530	8,156	7,185	7,251	7,779	7,832	8,831	8,820	8,972	9,080	9,100	9,130
151	171	188	189	207	151	151	136	139	104	122	127	—
8,529	9,315	9,634	9,836	10,609	10,556	11,019	11,581	11,949	11,393	11,463	12,715	—

主 な 火 災

(損害額 1 億円又は焼損面積660㎡以上、林野火災は10ha以上)

年 月 日	場 所	職 業	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	原 因
昭和 10.12.12	甲府市 八日町	蚕 糸	1,669	64	炉
11. 1. 4	// 東二条	製 菓	683	40	かまど
11. 3. 8	// 橋町	タイヤ修理	1,009	69	ガソリンへ引火
11. 6.25	// 深町	製 材	1,844	150	火鉢
13. 2. 2	// 橋町	不 明	6,725	318	不明
14. 2.16	// 橋町	旅客自動車	735	85	油引火
14. 3.23	// 山田町	製糸業	887	65	かまど
14. 4.27	// 百石町	製 材	1,280	137	たき火
15. 5.20	能泉村 川窪	農 業	76棟	不明	不明
16. 5.29	甲府市 金手町	製 麦	6,138	252	乾燥機の加熱
17.10. 8	// 善光寺町	製 糸	742	102	たばこの吸殻
22. 1. 4	// 北新町	学 校	1,900	100	たき火
24. 7.17	// 山田町	製 糸	1,659	17,960	取灰の不始末
25. 3. 1	// 西一条	製 材	914	5,320	不明
27. 6.18	// 塩部町	工 場	1,725	9,430	電気
28. 3.23	// 錦町	官 庁	3,751	3,300	電熱器の使用放置
28.11.28	// 緑町	メリヤス製造	771	9,330	電気アイロンの使用放置
30.12.18	// 御岳町	神 社	795	36,175	こたつの不始末
31. 6. 4	// 穴切町	木 工	1,237	10,211	不明
32. 8.24	// 朝気町	製 材	1,409	8,623	たばこの不始末
33. 1. 4	// 北新町	寮	1,900	5,397	煙突の火の粉
33. 4. 3	// 朝気町	工 場	940	14,979	電気こんろ
36. 4.26	// 錦町	官 庁	756	5,424	風呂かまどの煙突の貫通部
36. 7.16	// 和田平町	製 糸	789	9,637	ボイラーの製造不良
37. 2.19	// 御岳町	林野火災	126.5ha	2,668	たき火
37. 3. 7	// 桜町	靴製造販売業	1,575	19,339	石油ストーブ
37. 7.18	// 八日町	食品加工	3,050	34,952	石油バーナーの逆火
38.12.27	// 東三条通り	製 材	677	6,328	不明
41. 5. 4	// 中村町	製 材	757	4,392	焼ぬか分離器の加熱

年 月 日	場 所	職 業	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	原 因
昭和 43. 3. 4	甲府市 徳行町	家具製造	1,971	20,742	不明
44. 6.14	// 下石田町	家具製造	991	18,298	不明
44.12. 4	// 中央一丁目	家具販売	2,782	131,828	たき火
45. 9.25	// 飯田一丁目	製 麦	2,242	49,958	不明
45.10. 1	// 中央一丁目	書籍販売	840	47,859	不明
45.10.20	// 下石田町	マットレス製造	993	30,745	電気溶接の火花
46.11.10	// 朝気三丁目	木 工	982	33,095	たばこの不始末
46.11.16	// 東光寺町	高等学校	1,836	15,327	不明
47. 9. 9	// 国玉町	紙器工場	5,236	370,972	子供の火遊び
48.11.10	// 城東五丁目	壁材製造	1,111	45,127	スチームパイプの加熱
49.11.19	// 上今井町	小学校	692	20,704	たばこの不始末
50. 7.30	// 相生二丁目	木材販売	782	35,428	不明
51. 3.27	// 高畑一丁目	木 工	762	28,470	ベアリングの加熱
52. 6.14	// 幸町	製材業	1,157	94,457	焼却炉の火の粉の飛び火と推定
52.11.27	竜王町 篠原	中学校	1,012	20,014	たばこの不始末
53. 6. 1	甲府市 竹日向町	会社員	774	11,438	石油ストーブ
54. 4. 4	// 伊勢一丁目	工 場	897	83,565	金属火花による引火
57. 4.12	// 丸の内一丁目	パチンコ店	1,739	209,192	不明
58. 7.10	玉穂村 一町畑	家具製造	958	67,130	不明
61. 6.12	甲府市 上阿原町	製材業	925	59,193	焼却炉使用中の不注意
62. 3. 5	// 酒折町	林野火災	53ha	36,067	たき火の飛び火
63. 4.28	敷島町	無 職	950	26,251	たき火の飛び火
63.10.13	甲府市 住吉四丁目	繊維業	198	122,615	不明
63.12. 8	// 湯村三丁目	旅 館	936	27,678	放火
平成 3. 5.24	// 落合町	OA機器工場	581	120,736	取灰の再燃
4. 3.12	// 上今井町	倉 庫	1,320	39,900	不明
6. 6.20	// 城東二丁目	公衆浴場	782	73,614	不明
8. 5. 1	// 徳行一丁目	製材業	1,342	53,439	不明
8. 5.20	// 中央一丁目	飲食店街	1,534	354,469	放火
8. 7.31	// 城東三丁目	作業場	1,692	342,003	たばこの不始末
17. 3.30	// 山宮町	飲食業	165	246,760	不明
20. 3.29	甲斐市 吉沢	林野火災	11.7ha	10,133	たばこの不始末
20.12.28	甲府市 桜井町	林野火災	49.6ha	36,930	たばこの不始末 (出火場所：笛吹市管内)

消防相互応援協定等の状況

協 定 名	締 結 年 月 日	締 結 先 機 関
ガス爆発防止対策に関する協定書	昭和55年 9月 6日	甲府地区消防本部、甲府警察署、南甲府警察署、韮崎警察署、山梨県LPガス協会、日本簡易ガス協会関東支部山梨部会、東京ガス株式会社甲府支社、東京電力株式会社山梨県支部
中央自動車道消防相互応援協定書	昭和58年11月 1日	上野原市長、大月市長、都留市長、富士五湖消防組合管理者、富士吉田市長、西桂町長、富士河口湖町長、東山梨消防組合管理者、甲州市長、笛吹市、甲府地区広域行政事務組合管理者、甲府市長、甲斐市長、中央市長、昭和町長、峡北広域行政事務組合代表理事、韮崎市長、北杜市長
山梨県常備消防相互応援協定書	昭和61年 6月 1日	甲府地区広域行政事務組合管理者、都留市長、富士五湖消防組合管理者、大月市長、峡北広域行政事務組合代表理事、笛吹市長、峡南広域行政組合管理者、東山梨消防組合管理者、上野原市長、南アルプス市長
山梨県消防防災ヘリコプター応援協定	平成 7年 3月20日	山梨県知事、各市町村、消防管理者
中部横断道自動車道消防相互応援協定書	平成16年 3月20日	南アルプス市長、峡北広域行政事務組合代表理事、甲府地区広域行政事務組合管理者 甲斐市長
鉄道災害時における安全対策に関する覚書	平成17年 7月27日	甲府地区広域行政事務組合消防本部消防長 峡南広域行政事務組合消防本部消防長 東海旅客鉄道株式会社執行役員静岡支店長
災害時における燃料等の供給に関する協定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 山梨県石油共同組合理事長
災害時における物資の供給に関する協定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 (株)オギノ、(株)山交

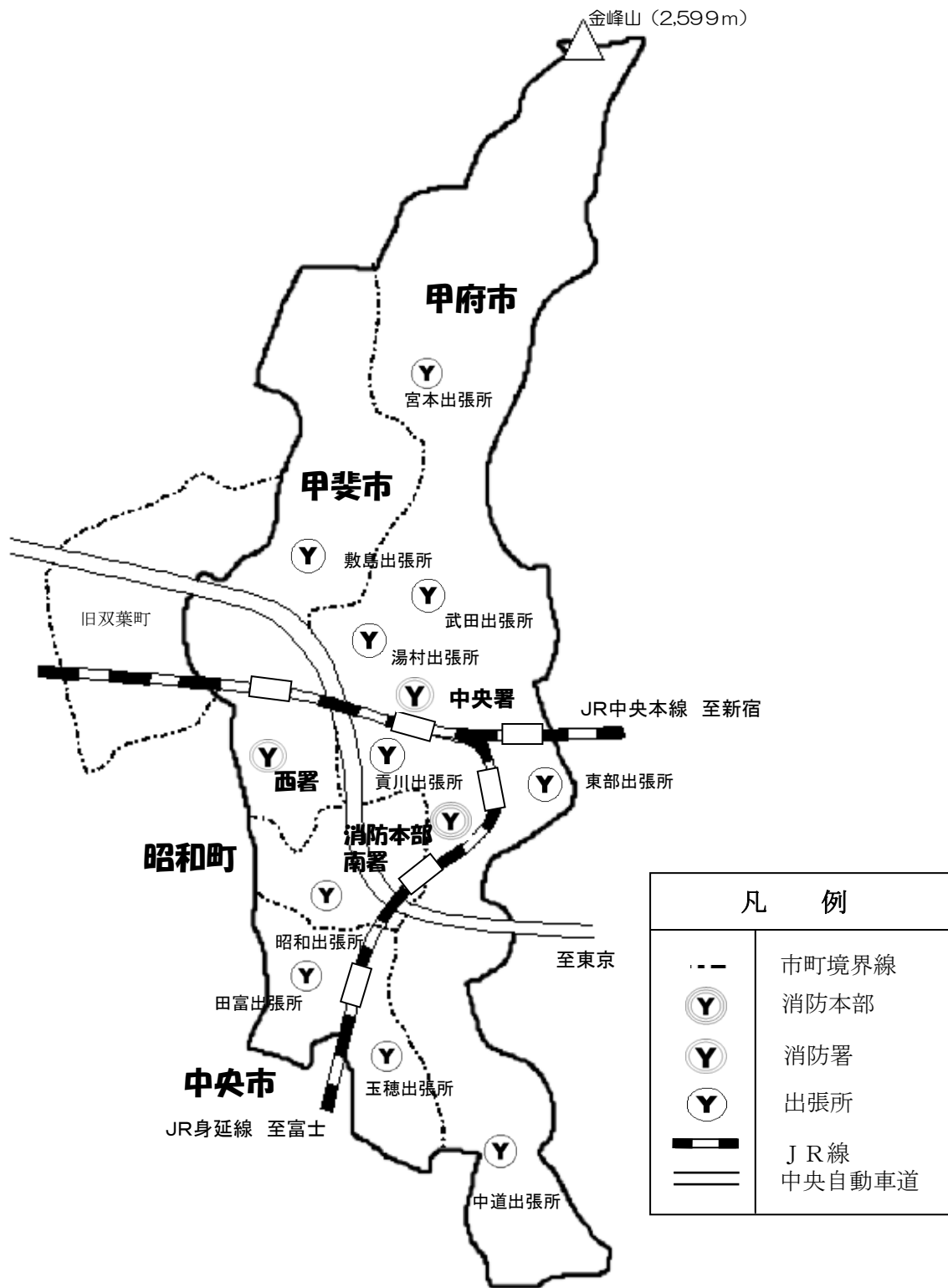
協 定 名	締 結 年 月 日	締 結 先 機 関
災害時における救急 資機材等に関する協 定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 山梨県医療器機協同組合
消防相互応援協定	平成18年 4月 1日	甲府地区広域行政事務組合管理者 甲府市長、甲斐市長、中央市長、昭和町長
西関東道路消防相互 応援協定書	平成18年12月20日	甲府地区広域行政事務組合管理者 笛吹市長 東山梨行政事務組合東山梨消防本部管理者
救助事案発生時にお ける移動式クレーン 等の要請等に関する 協定書	平成19年 6月29日	甲府地区広域行政事務組合消防長 (株)全国クレーン建設業協会山梨県支部
鉄道災害時における 消防機関と鉄道事業 者との連携に関する 協定書	平成19年10月25日	甲府地区広域行政事務組合消防長 都留市消防本部消防長 大月市消防本部消防長 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本 部消防長 峡北広域行政事務組合消防本部消防長 東山梨行政事務組合東山梨消防本部消防長 上野原市消防本部消防長 笛吹市消防本部消防長 東日本旅客鉄道株式会社東京支社長 東日本旅客鉄道株式会社八王子支社長 東日本旅客鉄道株式会社長野支社長 富士急行株式会社取締役社長
新山梨環状道路消防 相互応援協定書	平成21年 3月14日	甲府地区広域行政事務組合管理者 南アルプス市長

2

総務・企画

- 消防本部・消防署・出張所の配置
- 消防の組織
- 消防本部事務分掌
- 消防署事務分掌
- 組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較
- 平成23年度歳入歳出当初予算
- 消防庁舎の状況
- 消防車両及び小型動力ポンプ配置状況
- 消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況
- 消防車両一覧表

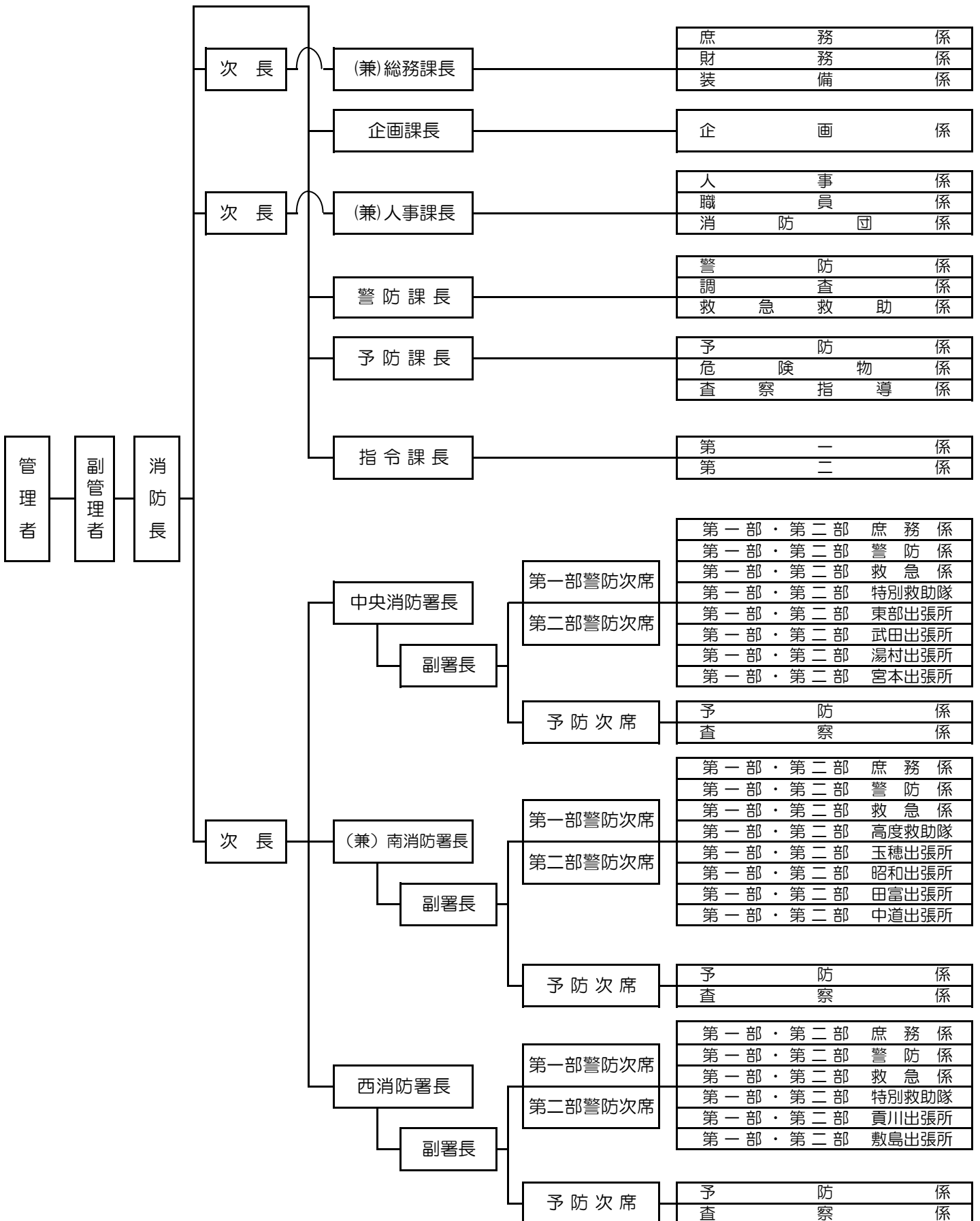
消防本部・消防署・出張所の配置



消 防 の 組 織

○消防の組織

(平成23年4月1日現在)



消 防 本 部 事 務 分 掌

課	係	分 掌 事 務
総務課	庶務係	1 公印の管理に関すること。 2 儀式及び渉外に関すること。 3 管理者及び消防長等が決定権者である事業の決定関与及び文書の総括指導に関すること。 4 職員の出張命令に関すること。 5 職員以外の表彰に関すること。 6 文書の取扱いに関すること。 7 物品の買入れ及び売払いの契約並びに検収に関すること。 8 消防自動車等の製造及び修繕の請負契約並びに検収に関すること。 9 各種委託契約及び検収に関すること。 10 消防庁舎等の修繕の請負契約及び検収に関すること。 11 課内庶務及び他の課、係の主管に属さないこと。 12 消防長会に関すること。 13 消防協力会及び消防記念会に関すること。 14 消防協会に関すること。 15 甲府地区広域消防運営会議に関すること。
	財務係	1 歳入歳出予算及び決算に関すること。 2 予算の調整及び執行に関すること。 3 起債に関すること。 4 建物、設備及び工作物の設置及び修繕に関すること。 5 消防庁舎及び付属施設の総括管理に関すること。 6 物品の出納及び管理に関すること。 7 給与品、貸与品に関すること。 8 図書管理に関すること。
	装備係	1 消防自動車等の製造及び整備に関すること。 2 消防機器及び消防装備のぎ装に関すること。 3 消防自動車等の燃料に関すること。 4 安全運転管理に関すること。 5 消防自動車等の交通事故に関すること。 6 私有車の借上げの管理に関すること。 7 消防自動車等の管理に関すること。 8 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
企 画 課	企画係	1 組織の総合管理に関すること。
		2 職員の定数管理に関すること。
		3 行財政運営近代化、効率化推進の総括に関すること。
		4 総合調整に関すること。
		5 消防関係規程の制定、改廃に関すること。
		6 情報管理運用及び推進に関すること。
		7 消防行政事務の情報化の推進に関すること。
		8 消防統計に関すること。
		9 消防救急無線のデジタル化の推進に関すること。
		10 通信指令業務の共同化の推進に関すること。
		11 消防本部の広域化に関すること。
		12 消防計画に関すること。
人 事 課	人事係	1 職員の任免、分限及び賞罰に関すること。
		2 職員の採用、昇任試験及び選考に関すること。
		3 職員の給与及び退職手当に関すること。
		4 職員の配置及び服務規則に関すること。
		5 消防職員委員会に関すること。
		6 課内庶務及び他の係の主管に属さないこと。
		7 予算の調整及び執行に関すること。
	職員係	1 職員の教育訓練に関すること。
		2 職員の研修派遣命令に関すること。
		3 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
		4 職員の公務災害等に関すること。
		5 予算の調整及び執行に関すること。
	消防団係	1 消防団の組織制度に関すること。
		2 消防団の表彰等に関すること。
		3 消防団員等の公務災害補償に関すること。
		4 消防団員の退職報償金に関すること。
		5 消防団員の教育訓練に関すること。
		6 消防団施設の総括管理に関すること。
7 消防団用消防自動車等の製造、整備及び管理に関すること。		
8 消防団用機械器具に関すること。		
9 消防団用消防自動車等の燃料に関すること。		
10 消防団用消防自動車等の交通事故に関すること。		
11 予算の調整及び執行に関すること。		

課	係	分 掌 事 務
警 防 課	警防係	1 水火災、地震等の対策に関すること。 2 警防計画及び消防訓練等の企画立案に関すること。 3 消防水利施設に関すること。 4 消防相互応援に関すること。 5 非常招集に関すること。 6 消防隊の監察に関すること。 7 防災行政に関する組織市町との連絡調整に関すること。 8 消防技術の調査研究に関すること。 9 甲府地区ガス安全対策協議会に関すること。 10 緊急消防援助隊に関すること。 11 住宅防火診断の推進に関すること。 12 課内庶務及び他の係の主管に属さないこと。 13 予算の調整及び執行に関すること。
	調査係	1 火災の原因及び損害の調査に関すること。 2 火災調査技術の指導に関すること。 3 火災原因の鑑識及び火災関係写真に関すること。 4 火災調査資料の収集及び分析に関すること。 5 火災統計に関すること。 6 火災証明に関すること。 7 放火対策に関すること。
	救急救助係	1 救急救助対策に関すること。 2 救急救助の相互応援に関すること。 3 救急救助統計に関すること。 4 救急救助技術の調査、研究及び指導に関すること。 5 救急医療機関等との連絡に関すること。 6 救急救助証明に関すること。 7 救急救助資器材の管理に関すること。 8 患者等搬送事業の指導育成に関すること。 9 救急救命士の病院実習及び薬剤投与実習に関すること。 10 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
予 防 課	予防係	1 建築確認等の同意に関すること。 2 消防用設備に関すること。 3 予防統計に関すること。 4 証明手数料の収納等に関すること。 5 電気用品及び液化石油ガス委譲事務に関すること。 6 防災表示に関すること。 7 甲府防火協会に関すること。 8 甲府地区旅館・ホテル火災防止協議会に関すること。 9 課内庶務及び他の係の主管に属さないこと。 10 予算の調整及び執行に関すること。 11 住宅防火対策の推進に関すること。
	危険物係	1 危険物製造所等の許認可に関すること。 2 少量危険物、指定可燃物の規制に関すること。 3 危険物製造所等の査察及び査察指導に関すること。 4 危険物取扱者等の講習に関すること。 5 危険物災害の調査に関すること。 6 危険物関係の統計に関すること。 7 消防証明、手数料等に関すること。 8 液化石油ガスの設置、変更にもなう意見書の交付に関すること。 9 予算の調整及び執行に関すること。
	査察指導係	1 防火対象物の査察指導に関すること。 2 予防査察の企画立案に関すること。 3 防火対象物の違反処理に関すること。 4 防火対象物の表示公表に関すること。 5 防火管理者の講習、資格管理、指導育成及び証明に関すること。 6 査察統計に関すること。 7 電気用品の安全表示に関すること。 8 火災予防対策及び各種防火運動に関すること。 9 消防広報及び公聴に関すること。 10 消防報道に関すること。 11 報道機関との連絡に関すること。 12 広報誌の編集、発行に関すること。 13 幼少年消防クラブ、女性防火クラブ等の指導育成に関すること。 14 広報ビデオ等の作成及び管理並びにＡＶシステムの管理に関すること。 15 消防音楽隊に関すること。 16 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
指 令 課	第一係 第二係	1 出場指令に関すること。 2 通信統制に関すること。 3 気象情報の収集及び伝達に関すること。 4 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。 5 消防通信連絡に関すること。 6 防災行政無線に関すること。 7 火災警報及び消防信号に関すること。 8 消防指令システムの企画、調整及び運営管理に関すること。 9 ふれあいペンダント（緊急通報システム）の企画、調整及び運営管理に関すること。 10 通信技術の研究及び指導に関すること。 11 通信施設、器具の運用及び維持管理に関すること。 12 防災関係機関及び医療機関との連絡調整に関すること。 13 消防救急無線のデジタル化の研究・整備に関すること。 14 通信指令業務の共同運用の研究・整備に関すること。 15 その他通信指令事務に関すること。 16 予算の調整及び執行に関すること。 17 課内庶務に関すること。

消 防 署 事 務 分 掌

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
中 央 消 防 署	庶 務 係	1 公印の保管に関すること。 2 署の広報に関すること。 3 消防情報及び公聴に関すること。 4 職員の身分に関すること。 5 職員の服務に関すること。 6 職員の教養訓練に関すること。 7 文書に関すること。 8 図書の管理に関すること。 9 消防施設の保守管理に関すること。 10 物品の出納保管に関すること。 11 他の係に属さないこと。 12 予算の調整及び執行に関すること。
	警 防 係	1 水火災等の警防に関すること。 2 消防地理及び消防水利に関すること。 3 警防対策に関すること。 4 災害情報に関すること。 5 消防訓練に関すること。 6 自衛消防組織の訓練指導に関すること。 7 消防機械器具の保守管理に関すること。 8 安全運転に関すること。 9 消防気象に関すること。 10 煙火打上及び催物等に関すること。 11 住宅防火診断に関すること。 12 火災の原因及び損害の調査に関すること。 13 り災証明に関すること。 14 火災統計に関すること。 15 その他特に命ぜられた事務。
	予 防 係	1 火災の予防及び広報宣伝に関すること。 2 建築確認等の同意に関すること。 3 消防用設備等に関すること。 4 防火対象物に関する証明書及び意見書等の交付に関すること。 5 危険物製造所等の許認可に関すること。 6 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。 7 少量危険物、指定可燃物、高圧ガス等の規制に関すること。 8 火災予防に関する各種届出に関すること。 9 電気設備及び電気器具の保安に関すること。 10 予防統計に関すること。

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
中央消防署	査 察 係	1 防火対象物の立入検査に関すること。 2 危険物製造所等の立入検査に関すること。 3 少量危険物の貯蔵又は取扱い場所の立入検査に関すること。 4 防火対象物の違反処理に関すること。 5 危険物製造所等の違反処理に関すること。 6 防火対象物の表示、公表に関すること。 7 防火対象物台帳、危険物許認可台帳の管理に関すること。 8 屋外の火災予防措置に関すること。 9 査察統計に関すること。 10 消防計画の作成指導に関すること。 11 電気用品の安全表示に関すること。 12 禁止行為の解除承認に関すること。
	救 急 係	1 救急に関すること。 2 救急病院等の連絡に関すること。 3 救急資器材の管理に関すること。 4 救急統計に関すること。 5 救急証明に関すること。 6 その他特に命ぜられた事務
	特別救助隊	1 救助、救出活動及び対策に関すること。 2 救助、救出訓練に関すること。 3 水難救助に関すること。 4 救助資器材の保守管理に関すること。 5 救助統計に関すること。 6 その他特に命ぜられた事務
	東部出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	武田出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
	湯村出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
	宮本出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
南消防署	庶 務 係	中央消防署に同じ。
	警 防 係	中央消防署に同じ。
	予 防 係	中央消防署に同じ。
	査 察 係	中央消防署に同じ。
	救 急 係	中央消防署に同じ。
	高度救助隊	1 救助、救出活動及び対策に関すること。 2 救助、救出訓練に関すること。 3 NBC災害の救助に関すること。 4 水難救助に関すること。 5 救助資器材の保守管理に関すること。 6 救助統計に関すること。 7 その他特に命ぜられた事務

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
南 消 防 署	玉穂出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	昭和出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	田富出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	中道出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
西 消 防 署	庶 務 係	中央消防署に同じ。
	警 防 係	中央消防署に同じ。
	予 防 係	中央消防署に同じ。
	査 察 係	中央消防署に同じ。
	救 急 係	中央消防署に同じ。
	特別救助隊	中央消防署に同じ。
	消防教育隊	消防教育隊に關すること。
	敷島出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	貢川出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務

組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較

(単位：千円)

区分 年度	組織市町一般会計当初予算の合計額	消防事業特別会計当初予算	比 率
平成18年度	96,199,626	3,234,819	3.36%
平成19年度	105,687,622	3,484,540	3.30%
平成20年度	108,713,100	3,486,785	3.21%
平成21年度	105,267,400	3,612,511	3.43%
平成22年度	114,976,740	3,593,237	3.13%
平成23年度	112,725,719	3,721,022	3.30%

※ 市町負担金の内訳
 基準財政需要額の7.3% ただし、甲府市は8.6%に該当する額
 (合併前の中道町及び上九一色村を除く。)
 (臨時負担金割合は、基準財政需要額の構成比に基づき算定する。)

平成23年度 歳入歳出当初予算

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
合 計	3,721,022	合 計	3,721,022
分担金及び負担金	3,266,188	消 防 費	3,640,594
使用料及び手数料	5,531	公 債 費	79,428
国 庫 支 出 金	1	予 備 費	1,000
県 支 出 金	1		
繰 入 金	207,293		
繰 越 金	1		
諸 収 入	4,107		
組 合 債	237,900		

消 防 庁 舎 の 状 況

(平成23年4月1日現在)

名 称		所 在 地	建 築 概 要		建築年月	延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
			種 別	構 造			
消 防 本 部	本 部・ 南消防署 (本署)	〒400-0856 甲府市伊勢3-8-23 Tel055-222-1190	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造3階建	H元.3	3,180.90	3,577.88
	1号発電機室		機械室	鉄骨造平屋建	H元.3	28.08	
	2号発電機室		機械室	鉄骨造平屋建	H 8.3	32.80	
	倉庫・車庫		倉庫・車庫	鉄骨造2階建	H11.3	192.00	
中 央 消 防 署	本 署	〒400-0031 甲府市丸の内1-1-19 Tel055-254-9119	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造2階建	H 19.2	1,264.43	1,633.04
	東部出張所	〒400-0812 甲府市和戸町1088-1 Tel055-231-1119	庁 舎	鉄骨造2階建	S53.11	195.30	213.75
	武田出張所	〒400-0017 甲府市屋形3-7-17 Tel055-254-0199	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	117.00	242.00
	湯村出張所	〒400-0073 甲府市湯村3-3-38 Tel055-254-0099	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S61.11	151.12	415.76
	宮本出張所	〒400-1217 甲府市猪狩町426-1 Tel055-287-2126	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	49.69	178.40
南 消 防 署	玉穂出張所	〒409-3815 中央市成島2384-1 Tel055-273-0699	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S59.12	150.54	743.03
			車 庫	鉄骨造平屋建	H12.6	44.94	
	昭和出張所	〒409-3864 中巨摩郡昭和町押越1092 Tel055-275-5499	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S60.11	151.12	1,006.85
			仮眠室増設	鉄筋コンクリート造平屋建	H22.12	26.90	
			高圧ガス製造所	補強コンクリートブロック造平屋建	H22.12	18.43	
	田富出張所	〒409-3844 中央市臼井阿原275-3 Tel055-273-0999	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	H 7.3	224.78	999.90
	中道出張所	〒400-1504 甲府市右左口町3187 Tel055-266-4042	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S47.3	124.90	768.00
			車 庫	鉄骨造平屋建	S60.12	98.00	
西 消 防 署	本 署	〒400-0118 甲斐市竜王3314-1 Tel055-276-3825	庁 舎	鉄筋コンクリート造3階建	S49.3	468.46	2,155.60
			訓練塔	鉄骨補強コンクリートブロック造2階建	S49.3	72.00	
			車 庫	鉄骨造平屋建	S55.3	126.20	
			車 庫	鉄骨造平屋建	S62.3	119.20	
			訓練塔	鉄骨造2階建	H 9.3	30.06	
			訓練塔	鉄骨造6階建	H17.3	—	
	貢川出張所	〒400-0049 甲府市富竹2-2-27 Tel055-224-1119	庁 舎	鉄筋コンクリート造2階建	S59.3	191.90	149.30
	敷島出張所	〒400-0123 甲斐市島上条350-5 Tel055-277-8119	庁 舎	鉄筋コンクリート造2階建	H10.3	310.51	442.37



消防本部・南消防署・組合事務局・視聴覚ライブラリー



玉穂出張所



田富出張所



昭和出張所



中道出張所



中央消防署



東部出張所



武田出張所



湯村出張所



宮本出張所



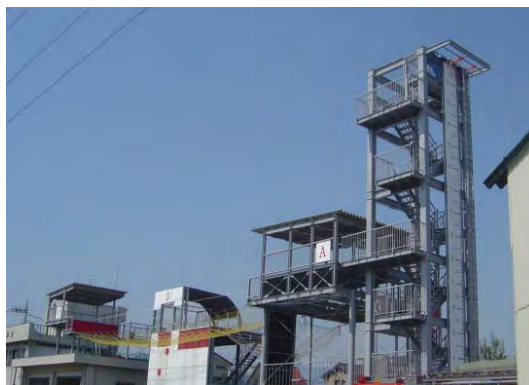
西消防署



貢川出張所



敷島出張所



訓練塔

消防車両及び小型動力ポンプ配置状況

(平成23年4月1日現在)

車両名等 配置場所		合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	はしご車	屈折はしご車	救助工作車	高規格救急車	作業車	水そう車	電源照明車	指揮車	指揮隊車	後方支援車	多目的車	原因調査車	消防長車	査察車	予防広報車	資機材搬送車	隊員輸送車	防災指導車	連絡車	震災用自動二輪車	小型動力ポンプ
合計		78	13	2	2	2	1	3	12	1	1	1	4	1	1	1	3	1	7	1	2	1	1	3	3	11
消防本部		13											1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	3		
中央消防署	本署	12	1	1		1		1	2				1				1		2						1	1
	東部出張所	3	1						1																	1
	武田出張所	2	1																							1
	湯村出張所	3	1							1																1
	宮本出張所	2	1																							1
南消防署	本署	15	1		1	1		1	2			1	1			1			2		1				1	2
	玉穂出張所	2	1						1																	
	昭和出張所	2	1						1																	
	田富出張所	3	1						1																	1
	中道出張所	3		1					1																	1
西消防署	本署	14	2		1		1	1	2		1		1				1		2						1	1
	貢川出張所	1	1																							
	敷島出張所	3	1						1																	1

消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況

(平成23年4月1日現在)

年 数		合計	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上	11年以上	12年以上	13年以上	14年以上	15年以上	16年以上	17年以上	18年以上	19年以上	20年以上
合計		78	2	3	0	0	5	6	5	4	2	5	5	5	6	3	8	5	5	1	1	1	6
普通ポンプ車		13	2					1				1		1	1	1	1	2		1	1	1	
水槽付ポンプ車		2							1					1									
化学車		2														1	1						
はしご車		2																	1				1
屈折はしご車		1		1																			
救助工作車		3									1						1						1
高規格救急車		12		2			1	2	1	1	1	1	1		1	1							
作業車		1																					1
水そう車		1																	1				
電源照明車		1					1																
指揮車		4					1	1	1	1													
指揮隊車		1													1								
後方支援車		1													1								
多目的車		1																					1
原因調査車		3					1		1					1									
消防長車		1												1									
査察車		7						2	1	1		1						1	1				
予防広報車		1										1											
資機材搬送車		2																	1				1
隊員輸送車		1																					1
防災指導車		1																					
連絡車		3								1			2										
震災用自動二輪車		3																3					
小型動力ポンプ		11					1					1	1	1	2		2	1	2				

消防車両一覧表

平成23年4月1日

配置場所		車両名	車 体	リ-ス	緊急	一般	排気量 (ℓ)	ポンプ メーカー	登録年月日
合 計 (小型ポンプ、二輪車除く)				11	51	13	ポンプ形式は全て2段タービン		
消防本部	総務課	1 消防長車	日 産			1	2.96		H 11 7 5
		2 本部指揮車	日 産	1	1		1.76		H 17 9 30
		3 連絡車 (1BOX)	日 産			1	1.99		H 12 8 29
		4 連絡車 (軽)	ダイハツ	1		1	0.65		H 15 7 1
		5 連絡車 (RV)	日 産			1	3.27		H 12 9 25
		6 原因調査車	日 産		1		3.13		H 11 10 29
		7 資機材搬送車	三 菱			1	0.65		H 6 3 25
		8 支援車	日 野		1		7.96		H 11 1 28
		9 指揮隊車	三 菱		1		4.56		H 16 3 31
		10 査察車	日 産	1	1		0.65		H 17 9 30
		11 予防広報車	日 産			1	3.49		H 13 8 29
		12 防災指導車	日 産			1	1.99		H 22 3 12
		13 隊員輸送車	三 菱			1	6.55		S 61 8 11
中央消防署	本 署	1 普通ポンプ車	いすゞ		1		3.63	モリタ	H 5 3 3
		2 水槽付ポンプ車	日 野		1		7.96	GMいちほら	H 16 1 23
		3 救助工作車	日 野		1		7.96		H 14 12 5
		4 はしご車	日 野		1		20.78		H 8 2 23
		5 高規格救急車	日 産		1		3.49		H 17 11 18
		6 指揮車	日 産	1	1		1.76		H 15 8 1
		7 査察車1	三 菱	1		1	0.65		H 15 7 17
		8 査察車2	三 菱	1		1	0.65		H 17 9 1
		9 原因調査車	日 産	1	1		1.78		H 16 9 1
		10 非常用救急車2	トヨタ		1		3.37		H 10 2 10
	東部出張所	11 普通ポンプ車	いすゞ		1		4.57	GMいちほら	H 11 10 29
		12 高規格救急車	トヨタ		1		3.37		H 17 12 13
	武田 //	13 普通ポンプ車	日 野		1		4.00	モリタ	H 23 2 4
	湯村 //	14 普通ポンプ車	日 野		1		4.00	モリタ	H 23 2 4
	宮本 //	15 作業車	いすゞ		1		3.63		S 63 6 27
		16 普通ポンプ車	三 菱		1		4.56	日本機械	H 8 3 18
南消防署	本 署	1 普通ポンプ車	三 菱		1		4.21	日本機械	H 6 1 27
		2 化学車	日 野		1		7.96	日本機械	H 9 2 26
		3 救助工作車	日 野		1		7.96		H 9 3 12
		4 電源照明車	日 野		1		4.00		H 19 1 30
		5 はしご車	日 産		1		11.67		S 62 12 17
		6 高規格救急車	日 産		1		3.49		H 18 11 27
		7 指揮車	日 産	1	1		1.76		H 16 9 1
		8 資機材搬送車NB	日 産		1		1.99		H 3 3 5
		9 査察車1	スズキ			1	0.99		H 7 9 8
		10 査察車2	三 菱			1	0.65		H 13 7 13
		11 多目的車 原調	トヨタ		1		2.59		H 2 9 28
		12 非常用救急車1	日 産		1		3.49		H 14 11 25
	玉穂出張所	13 普通ポンプ車	日 産		1		4.57	モリタ	H 10 2 10
		14 高規格救急車	トヨタ		1		3.37		H 12 12 18
	昭和 //	15 普通ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちほら	H 17 11 22
		16 高規格救急車	日 産		1		3.49		H 13 12 20
	田富 //	17 普通ポンプ車	日 産		1		4.57	日本機械	H 9 3 10
		18 高規格救急車	日 産		1		3.49		H 15 12 10
	中道 //	19 水槽付ポンプ車	いすゞ		1		4.57	日本機械	H 12 9 27
		20 高規格救急車	日 産		1		3.49		H 22 3 16
西消防署	本 署	1 普通ポンプ車	いすゞ		1		4.33	モリタ	H 7 2 22
		2 化学車	三 菱		1		16.03	日本機械	H 10 2 17
		3 救助工作車	いすゞ		1		12.01		H 2 3 26
		4 屈折はしご車	日 野		1		7.68		H 22 2 19
		5 水そう車	日 野		1		7.41		H 7 3 27
		6 高規格救急車	トヨタ		1		3.37		H 17 1 27
		7 指揮車	日 産	1	1		1.99		H 18 11 1
		8 査察車1	日 産		1		1.99		H 6 5 25
		9 査察車2	三 菱	1		1	0.65		H 16 8 2
		10 原因調査車	日 産	1	1		1.78		H 18 11 1
		11 予備ポンプ車	三 菱		1		4.21	日本機械	H 4 2 25
		12 非常用救急車3	トヨタ		1		3.37		H 10 10 27
	貢川出張所	13 普通ポンプ車	いすゞ		1		4.57	篠崎ポンプ	H 14 2 26
	敷島 //	14 普通ポンプ車	日 産		1		4.57	モリタ	H 11 1 20
		15 高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 21 11 12

3

人 事

- 人事の概要
- 消防職員所属別配置状況
- 消防職員年齢状況
- 消防職員勤続年数
- 消防職員実員年別比較
- 消防職員教養

人 事 の 概 要

近年、住民の安全・安心に対する関心がより一層高まりつつあることから、現行の消防体制を再点検し、あらゆる面において住民の負託に応えるべく体制を強化するとともに、職員一人ひとりの資質の向上を図るべく、各種研修に積極的に取り組んでいます。

消 防 職 員 所 属 別 配 置 状 況

(平成23年4月1日現在)

階 級 区 分		合 計	消防 正 監	消防 監	消 防 司 令 長	消防 司 令	消 防 司 令 補	消防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
条 例 定 数		335	階級別定数は定めていない							
実 員		323	1	5 (兼3)	8	60	82	81	50	36
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	0								
	総 務 課 (うち県・航空隊派遣)	10 (3)		1 (次長)		2	4 (2)	2 (1)	1	
	企 画 課	4			2	1	1			
	人 事 課 (うち消防学校派遣)	17 (10)		1 (次長)		2	2	2		10 (10)
	警 防 課	7			1	3		2	1	
	予 防 課	6			1	2	2	1		
	指 令 課	13			1	2	4	6		
	小 計	58	1	2	5	12	13	13	2	10
中 央 消 防 署	本 署	43		1	1	9	12	11	6	3
	東 部 出 張 所	18				2	6	4	3	3
	湯 村 出 張 所	8					2	4	2	
	武 田 出 張 所	8				2		4	2	
	宮 本 出 張 所	8					2	2	3	1
	小 計	85		1	1	13	22	25	16	7
南 消 防 署	本 署	61		1 (次長)	1	11	15	15	12	6
	田 富 出 張 所	18				2	6	4	4	2
	玉 穂 出 張 所	8				2	2	2		2
	昭 和 出 張 所	18				2	6	4	3	3
	中 道 出 張 所	8				1	3	2	2	
	小 計	113		1	1	18	32	27	21	13
西 消 防 署	本 署	41		1	1	13	7	9	6	4
	敷 島 出 張 所	18				2	6	5	3	2
	貢 川 出 張 所	8				2	2	2	2	
	小 計	67		1	1	17	15	16	11	6

消防職員年齢状況

(平成23年4月1日現在)

階級 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
合計	323	1	5	8	60	82	81	50	36	0
18歳～20歳	12								12	
21歳～25歳	40							17	23	
26歳～30歳	29						8	21		
31歳～35歳	34						23	10	1	
36歳～40歳	30					7	21	2		
41歳～45歳	41					24	17			
46歳～50歳	45				7	28	10			
51歳～55歳	43		1		21	19	2			
56歳以上	49	1	4	8	32	4				

消防職員勤続年数

(平成23年4月1日現在)

階級 勤続年数	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
合計	323	1	5	8	60	82	81	50	36	0
1年未満	10								10	
1年以上	13								13	
2年以上	36							24	12	
5年以上	28						13	14	1	
10年以上	21					1	13	7		
15年以上	35					4	26	5		
20年以上	24					11	13			
25年以上	55				3	40	12			
30年以上	101	1	5	8	57	26	4			

消防職員実員年別比較

(各年4月1日現在)

階級 年別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
平成14年	305	1	5	10	62	95	69	40	23	
平成15年	304	1	5	9	62	99	69	38	21	
平成16年	305	1	5	9	63	98	70	39	20	
平成17年	304	1	5	9	62	99	70	38	20	
平成18年	309	1	6	8	64	103	70	41	16	
平成19年	316	1	6	8	64	101	72	43	21	
平成20年	321	1	5	7	66	95	78	41	28	
平成21年	324	1	7	6	64	91	81	42	32	
平成22年	326	1	6	7	62	87	81	47	35	
平成23年	323	1	5	8	60	82	81	50	36	

消 防 職 員 教 養

消防大学校、山梨県消防学校、救急救命振興財団関係

区 分	内 容	回数	人員
消防大学校	総合教育「幹部科第23期」 総合教育「幹部科第24期」 専科教育「火災調査科第20期」 専科教育「救助科第63期」 緊急消防援助隊「指揮隊長コース」 緊急消防援助隊「NBC・特別高度救助コース」 緊急消防援助隊「高度救助コース」	各1	7
救急救命東京研修所	救命士養成教育	1	1
山梨県消防学校	初任教育初任科	1	13
	幹部教育（上級幹部科、幹部科）	各1	8
	特別教育（はしご自動車研修、無線研修、玉掛け講習、濃煙熱気実火災特別訓練指導者養成、救急科特別聴講）	各1	17
	専科教育（警防科、火災調査科、予防査察科、救急科）	各1	34

消防本部研修計画関係

区 分	対 象 者（内容含む）	回数	人員
新採用職員研修	新採用者	1	13
総務関係実務研修会	担当職員	1	2
消防実務講習	担当職員	1	2
調査技術会議	担当職員	1	2
横浜市消防局研修派遣	警防業務（警防・現場指揮）	1	1
青年消防職員意見発表大会	25歳以下の職員	1	10
緊急自動車運転技能講習 特定化学物質作業技能講習	所属推薦者	各1	4
免許資格研修	大型自動車運転免許資格取得	1	6
市町村職員中央研修所講師 養成課程（地方公務員法・地方自治法）	選考	3	3
シンポジウム	全国消防救助	1	1
その他講習	ライフプランセミナー	1	2

甲府市職員研修センター

区 分	対 象 者	回数	人員
部長等昇任者研修	昇任者	1	1
課長等昇任者研修	昇任者	1	3

山梨県市町村研修所関係

区 分	対 象 者	回数	人員
主査昇任者研修	昇任者	1	9
消防司令昇任者研修	昇任者	1	5
管理主査昇任者研修	昇任者	2	4

関東消防長会・医学会・消防総合センター関係

区 分	対 象 者	回数	人員
日本臨床救急医学会総会	担当職員	1	1
日本救急医学会関東地方会	担当職員	1	1

その他講演等

区 分	対 象 者	回数	人員
防災講演会、消防大学校伝達研修、地方公務員法研修会他	各所属希望者（推薦者含む）	13	303

- 火災の概要……火災件数等の前年比較
- 市町別火災発生状況……年別火災発生状況
- 署別火災発生状況……月別火災発生状況
- 曜日別火災発生状況……時間別火災発生状況
- 曜日別火災発生状況(グラフ)……時間別火災発生状況(グラフ)
- 原因別火災発生状況(グラフ)
- 消防水利一覧表
- 救急概要……救助概要
- 救急活動の前年比較
- 年別月別救急出場件数
- 消防署別・事故別救急出場件数……消防署別・月別救急出場件数
- 市町別救急出場数
- 市町別事故種別救急出場件数……中央自動車道救急出場状況
- 年齢別事故種別搬送人員
- 傷病程度別男女別搬送人員
- 時間別救急出場件数
- 事故種別診療科目別搬送人員
- 1日平均救急出場件数の年別比較(グラフ)
- 曜日別救急出場状況(グラフ)
- 覚知別救急出場件数……上級・普通・基礎救命講習受講者数
- 救助活動の前年比較
- 市町別事故種別救助出場件数
- 市町別月別救助出場件数
- 曜日別救助出場件数
- 時間別救助出場件数

火 災 の 概 要

1 火災件数について

平成22年中における火災件数は127件で、前年に比べ5件増加しているものの、過去10年間の平均155件と比べると28件減少しております。
(火災件数は事後聞知を含む。)

2 火災による死傷者について

火災による死者は6人で、前年と比べて2人増加、負傷者は12人で前年に比べ8人減少しました。

65歳以上の高齢者の死者は2人(33%)発生しております。

負傷者12人のうち6人(50%)は軽症者でした。

3 出火原因について

出火原因の上位5つは、たばこ(23件)、こんろ(13件)、放火(10件)、放火疑い(10件)、火あそび(7件)の順となっています。

4 焼損床面積と焼損棟数について

建物火災の焼損床面積は2,190㎡(前年1,897㎡)で、前年に比べ293㎡の増加となっております。1件当たり約30.4㎡(前年35.8㎡)を焼損したことになります。

焼損棟数は72棟(前年72棟)で全焼17棟、半焼4棟、部分焼38棟、ぼや32棟となっております。

火 災 件 数 等 の 前 年 比 較

(△：減)

区 分		平成22年 A	平成21年 B	前年との比較	
				C=A-B	C/B(%)
火災件数		127	122	5	4.1
損害額(千円)		236,557	239,095	△ 2,538	△ 1.1
建 物	件 数	72	53	19	35.8
	焼損床面積(㎡)	2,190	1,897	293	15.4
	焼損表面積(㎡)	889	200	689	344.5
	焼損棟数	91	72	19	26.4
	損害額(千円)	227,040	199,209	27,831	14.0
林 野	件 数	3	1	2	200.0
	焼損面積(a)	13	15	△ 2	△ 13.3
	損害額(千円)	1	979	△ 978	△ 99.9
車 両	件 数	9	12	△ 3	△ 25.0
	損害額(千円)	3,450	1,543	1,907	123.6
そ の 他	件 数	43	56	△ 13	△ 23.2
	損害額(千円)	6,066	37,364	△ 31,298	△ 83.8
り 災	世 帯	59	43	16	37.2
	人 員	144	103	41	39.8
死 傷 者	死 者	6	4	2	50.0
	負傷者	12	20	△ 8	△ 40.0

市町別火災発生状況

区分 市町	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
合 計	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12
甲府市	78	196,602	46	58	11	2	24	21	1,619	646	188,185	2	7	1	7	3,221	23	5,195	0	0	42	110	4	11
甲斐市	22	18,185	13	17	3	2	7	5	183	87	18,011	1	6	0	0	0	8	174	0	0	11	21	1	1
中央市	20	17,151	7	7	0	0	4	3	158	147	16,909	0	0	0	2	229	11	13	0	0	1	1	0	0
昭和町	7	4,619	6	9	3	0	3	3	230	9	3,935	0	0	0	0	0	1	684	0	0	5	12	1	0

年別火災発生状況

区分 年	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
13年	188	351,224	89	97	20	7	42	28	2,432	278	335,907	5	39	268	18	11,939	76	3,110	0	0	57	162	3	20
14年	189	418,985	82	100	17	6	38	39	2,640	368	403,038	10	72	605	27	9,171	70	6,171	0	0	83	217	3	33
15年	207	310,205	96	112	18	7	42	45	2,254	281	267,328	4	60	241	14	8,805	93	33,831	0	0	74	201	6	22
16年	151	174,057	76	107	24	3	37	43	2,956	286	166,545	1	3	0	14	2,538	60	4,974	0	0	76	161	8	28
17年	151	518,607	83	112	28	9	43	32	2,580	551	493,069	4	601	6,351	12	10,758	52	8,217	0	212	87	201	3	29
18年	136	229,999	71	100	19	9	34	38	2,261	331	217,719	4	84	678	15	8,647	46	2,955	0	0	61	167	5	22
19年	139	340,628	71	96	16	10	38	32	3,254	316	328,483	1	7	0	19	6,835	48	5,310	0	0	82	191	1	34
20年	104	155,872	50	75	13	3	30	29	1,228	261	103,306	3	6,132	47,691	11	2,026	40	2,849	0	0	44	101	8	17
21年	122	239,095	53	72	16	10	22	24	1,897	200	199,209	1	15	979	12	1,543	56	37,364	0	0	43	103	4	20
22年	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12

署別火災発生状況

区分 署	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
合 計	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12
中央署	31	103,340	19	23	4	0	11	8	628	235	95,469	1	7	1	2	2,854	9	5,016	0	0	11	43	0	6
南 署	66	101,570	33	43	8	2	16	17	1,224	497	100,108	1	0	0	6	586	26	876	0	0	30	69	4	4
西 署	30	31,647	20	25	5	2	11	7	338	157	31,463	1	6	0	1	10	8	174	0	0	18	32	2	2

月別火災発生状況

区分 月	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
合 計	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12
1 月	19	41,650	7	10	2	0	7	1	216	80	41,111	0	0	0	1	180	11	359	0	0	5	11	1	0
2 月	7	15,609	4	4	1	0	2	1	99	81	15,605	1	7	1	0	0	2	3	0	0	5	7	1	0
3 月	7	3,860	6	6	0	0	3	3	23	10	3,760	0	0	0	0	0	1	100	0	0	3	6	0	1
4 月	7	2,760	4	4	0	0	2	2	31	7	2,760	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	6	1	1
5 月	7	2,885	2	2	0	0	1	1	0	3	26	0	0	0	2	2,854	3	5	0	0	1	1	0	0
6 月	9	18,853	4	4	1	0	3	0	178	131	18,579	0	0	0	2	264	3	10	0	0	3	14	0	1
7 月	9	21,813	5	8	2	0	2	4	373	41	17,952	0	0	0	0	0	4	3,861	0	0	3	13	0	1
8 月	7	64	1	1	0	0	0	1	0	0	6	1	0	0	0	0	5	58	0	0	1	1	0	0
9 月	13	941	8	8	0	0	3	5	24	63	936	0	0	0	2	5	3	0	0	0	2	3	0	0
10 月	12	69,419	11	19	4	2	4	9	532	139	69,317	0	0	0	0	0	1	102	0	0	14	40	0	3
11 月	16	23,287	11	15	5	1	5	4	478	157	22,532	1	6	0	2	147	2	608	0	0	15	30	2	1
12 月	14	35,416	9	10	2	1	6	1	236	177	34,456	0	0	0	0	0	5	960	0	0	4	12	1	4

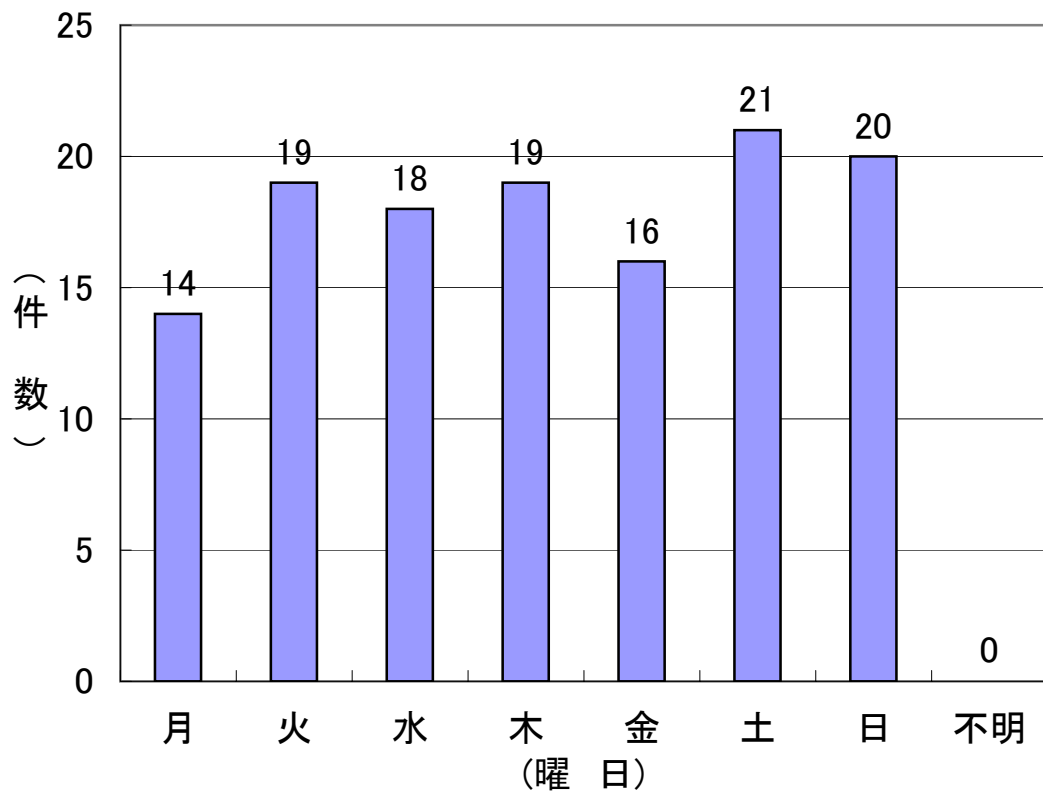
曜日別火災発生状況

区分 曜日	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
合 計	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12
月	14	74,644	11	13	1	1	7	4	386	260	74,425	0	0	0	0	0	3	219	0	0	8	29	0	3
火	19	8,938	10	11	1	1	6	3	98	13	8,570	1	6	0	3	155	5	213	0	0	10	17	1	2
水	18	56,822	13	23	5	1	10	7	760	123	56,296	1	7	1	0	0	4	525	0	0	14	33	1	4
木	19	52,862	12	18	5	1	6	6	597	243	51,637	0	0	0	1	10	6	1,215	0	0	10	23	1	0
金	16	7,361	7	7	1	0	2	4	42	3	4,320	0	0	0	2	2,854	7	187	0	0	3	8	0	1
土	21	16,682	10	10	2	0	3	5	172	177	16,355	1	0	0	2	317	8	10	0	0	7	19	1	1
日	20	19,248	9	9	2	0	4	3	135	70	15,437	0	0	0	1	114	10	3,697	0	0	7	15	2	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

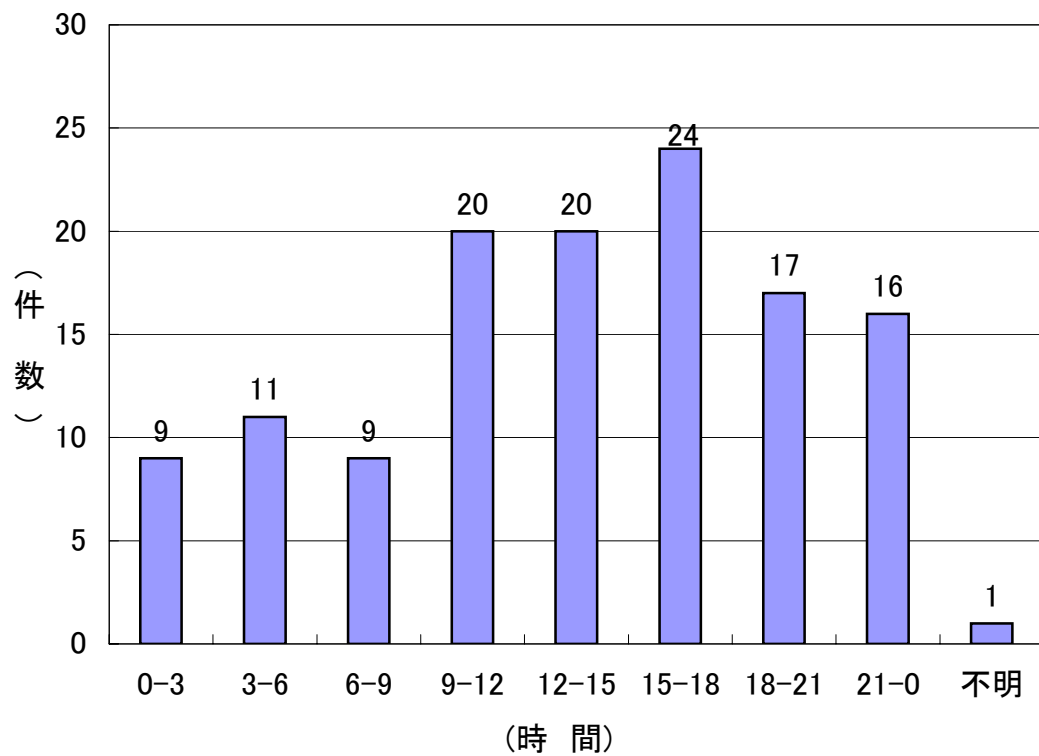
時間別火災発生状況

区分 時間	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆 発		り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や																
合 計	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	0	59	144	6	12
0～3	9	8,768	7	10	3	0	2	5	251	9	8,184	0	0	0	0	0	2	584	0	0	8	16	2	0
3～6	11	22,331	8	10	1	1	5	3	89	67	22,271	0	0	0	1	10	2	50	0	0	7	13	2	1
6～9	9	19,532	6	7	0	0	5	2	144	169	18,632	0	0	0	1	800	2	100	0	0	8	10	0	1
9～12	20	44,743	10	13	2	2	5	4	278	253	43,702	1	6	0	1	180	8	861	0	0	8	19	0	3
12～15	20	2,716	7	7	1	0	3	3	23	9	2,508	0	0	0	2	174	11	34	0	0	2	4	0	1
15～18	24	61,558	10	12	4	0	6	2	414	93	55,682	1	7	1	2	2,168	11	3,707	0	0	8	31	1	0
18～21	17	19,608	11	11	2	0	4	5	225	207	19,382	0	0	0	2	118	4	108	0	0	7	25	1	2
21～0	16	57,301	12	20	4	1	8	7	766	82	56,679	1	0	0	0	0	3	622	0	0	11	26	0	4
不明	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

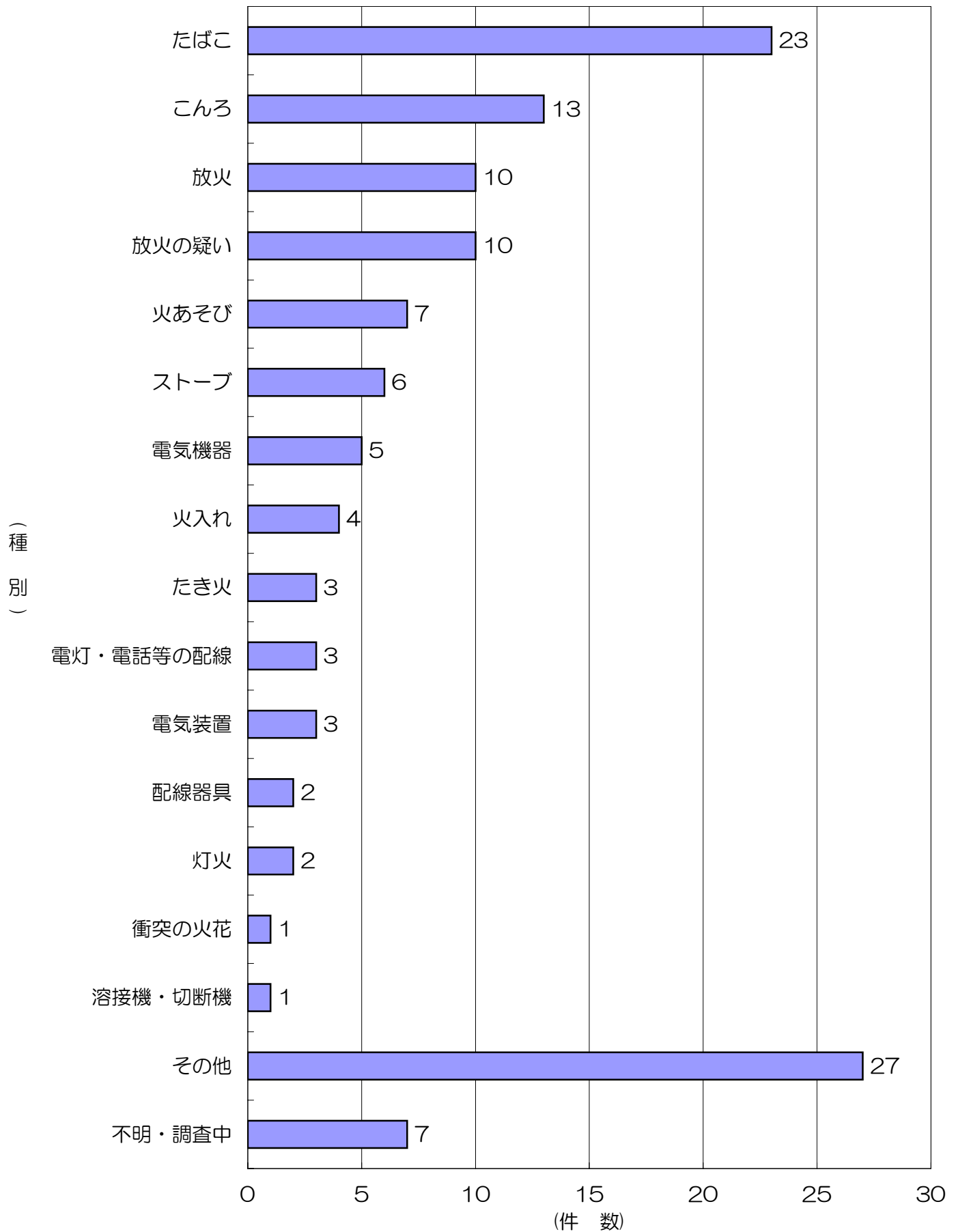
曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況



消 防 水 利 一 覧 表

(平成23年4月1日現在)

種別 地区別		合 計	公設消火栓		私 設 消火栓	公 設 貯水槽	私 設 貯水槽	溜 池	貯水池	プール	泉 水	井 戸	河 川
				うち簡易水道消火栓									
市 町 合 計		6,554	5,640	375	122	607	56	9	4	51	4	1	60
甲府市合計		3,446	2,850	49	98	380	30	9	4	37	3	1	34
甲斐市合計		1,727	1,556	111	24	94	17	0	0	9	1	0	26
中央市合計		934	804	215	0	121	6	0	0	3	0	0	0
昭和町合計		447	430	0	0	12	3	0	0	2	0	0	0
中 央 消 防 署 管 内	富士川	66	47			14	2	1		2			
	琢 美	63	59			4							
	相 生	88	80			7						1	
	新紺屋	94	67		11	14	1			1			
	穴 切	89	82			6				1			
	春 日	83	63		2	16		1		1			
	朝 日	95	87			7				1			
	里 垣	138	110		6	15	5			2			
	相 川	186	150		2	26		5		2	1		
	千 塚	139	115		7	15	1			1			
	甲 運	114	93		6	13	1			1			
	千代田	90	46	5	3	30	2		4	1			4
	能 泉	23	16	16		1							6
	宮 本	41	28	28		6	2						5
	北 新	88	72		3	7	2			4			
	羽 黒	149	129		6	10	3			1			
	計	1,546	1,244	49	46	191	19	7	4	18	1	1	15
南 消 防 署 管 内	湯 田	92	86			3		1		2			
	伊 勢	144	129		4	8	1	1		1			
	国 母	189	165		11	10				2	1		
	山 城	248	226		8	8	5			1			
	玉 諸	184	158			24				1	1		
	大 里	202	181		5	11	3			2			
	東	101	97			2				2			
	中 道	358	256		11	91							
	上九一色	14				14							
	玉 穂	181	160			18				3			
	田 富	456	429			21	6						
	豊 富	297	215	215		82							
	昭和町	447	430			12	3			2			
計	2,913	2,532	215	39	304	18	2	0	16	2	0	0	
西 消 防 署 管 内	貢 川	243	203		10	11	1			5			13
	池 田	125	105		3	7	1			3			6
	竜 王	1,227	1,147			48	12			6	1		13
	敷 島	500	409	111	24	46	5			3			13
	計	2,095	1,864	111	37	112	19	0	0	17	1	0	45

救 急 概 要

平成22年中の救急出場件数は12,715件（昨年比1,252件 10.9%増）、搬送人員は11,891人（昨年比1,273人 12.0%増）でありました。

この件数を1日平均にすると、34.8件出場し、32.6人を搬送しております。また、41分に1回の割合で救急隊が出場したことになり、搬送人員を管内人口の割合でみると約25.2人に1人が搬送されたことになります。

救急件数12,715件（うち不搬送1,029件）のうち、救急救命士が心肺停止の傷病者に対し医師の指示、指導、助言の下に行う特定行為（食道挿管・除細動・輸液・気管挿管・薬剤投与）を施行した件数は212件（昨年比19件9.8%増）であります。

救 助 概 要

平成22年中の救助件数は214件（昨年比25件 13.2%増）、救助人員は72人（昨年比18人 33.3%増）でありました。

救急活動の前年比較

(△：減)

事故種別	区 分	平成22年	平成21年	比 較	
				増 減	%
合 計	出場件数	12,715	11,463	1,252	10.9
	搬送人員	11,891	10,618	1,273	12.0
火災事故	出場件数	83	76	7	9.2
	搬送人員	9	18	△ 9	△ 50.0
自然災害	出場件数	0	0	0	--
	搬送人員	0	0	0	--
水難事故	出場件数	1	1	0	0.0
	搬送人員	0	1	△ 1	—
交通事故	出動件数	1,675	1,722	△ 47	△ 2.7
	搬送人員	1,761	1,810	△ 49	△ 2.7
労働災害	出場件数	92	96	△ 4	△ 4.2
	搬送人員	89	94	△ 5	△ 5.3
運動競技	出場件数	108	117	△ 9	△ 7.7
	搬送人員	111	116	△ 5	△ 4.3
一般負傷	出場件数	1,540	1,407	133	9.5
	搬送人員	1,471	1,332	139	10.4
加害事故	出場件数	81	97	△ 16	△ 16.5
	搬送人員	78	78	0	0.0
自損行為	出場件数	210	223	△ 13	△ 5.8
	搬送人員	155	168	△ 13	△ 7.7
急病	出場件数	7,549	6,530	1,019	15.6
	搬送人員	7,084	6,055	1,029	17.0
そ の 他	出場件数	1,376	1,194	182	15.2
	搬送人員	1,133	946	187	19.8

年別月別救急出場件数

() 内は、5町の委託分

月別 年別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和33	83	(5月から救急業務開始)				2	9	12	16	9	10	14	11
34	182	9	6	16	11	13	11	9	18	21	29	22	17
35	334	19	31	27	29	24	31	30	30	25	31	29	28
36	380	32	27	37	38	38	19	36	30	38	27	29	29
37	417	37	34	32	28	30	26	39	37	28	35	47	44
38	534	33	38	47	35	47	32	42	63	42	54	40	61
39	677	42	28	57	50	62	52	62	80	61	66	54	63
40	805	55	47	65	69	70	70	67	69	53	84	85	71
41	900	65	62	74	60	82	58	82	93	81	81	77	85
42	998	80	59	88	86	97	78	83	75	89	81	89	93
43	1,303	117	107	100	99	106	95	90	98	125	121	121	124
44	1,478	109	96	138	104	137	122	113	147	110	130	118	154
45	2,219 (75)	182	144	163	170	205	174	209	188 (15)	203 (17)	191 (14)	176 (16)	214 (13)
46	2,219 (210)	182 (12)	144 (15)	163 (15)	170 (16)	205 (15)	174 (15)	209 (23)	188 (25)	203 (22)	191 (15)	176 (17)	214 (20)
47	2,749 (251)	200 (15)	172 (13)	219 (18)	212 (19)	243 (26)	216 (16)	242 (20)	243 (21)	234 (22)	252 (31)	259 (30)	257 (20)
48	3,262 (94)	272 (36)	212 (26)	257 (32)	245	275	249	287	305	305	286	276	293
49	3,723	352	283	327	298	290	281	303	358	293	325	290	323
50	3,994	328	306	333	320	367	344	328	325	342	329	323	349
51	4,063	444	267	292	341	362	327	348	311	319	361	295	396
52	4,304	368	339	360	361	370	341	419	341	347	359	341	358
53	4,496	388	312	375	337	379	350	458	405	348	370	374	400
54	5,011	376	326	436	409	462	400	470	447	385	459	396	445
55	4,912	397	400	422	363	442	408	442	407	400	423	366	442
56	5,207	409	372	422	442	474	393	453	483	435	461	424	439
57	5,177	417	398	416	393	499	444	437	480	394	452	408	439
58	5,389	424	465	434	419	457	439	458	456	434	492	431	480
59	5,492	467	420	417	443	462	457	504	487	451	440	432	512
60	5,564	467	404	463	482	477	445	464	447	435	468	492	520
61	5,563	456	389	455	486	469	503	466	453	450	490	463	483
62	5,806	521	402	461	489	458	470	498	487	451	509	511	549
63	6,153	512	447	506	507	551	451	503	510	503	546	536	581

年別月別救急出場件数

() 内は、5町の委託分

月別 年別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成元	6,531	524	447	559	556	549	485	544	528	541	585	588	625
2	6,619	591	451	531	571	572	516	580	574	504	574	534	621
3	6,708	597	510	533	526	599	555	543	546	533	577	585	604
4	6,636	525	525	575	548	573	527	572	544	513	562	584	588
5	7,027	619	571	590	562	555	608	559	531	553	629	582	668
6	7,106	586	507	626	538	596	587	624	603	567	623	557	692
7	7,393	671	611	632	605	585	559	556	630	517	666	663	698
8	7,661	688	569	590	617	606	607	649	659	618	705	629	724
9	7,781	771	568	644	620	624	606	643	626	649	645	702	683
10	7,929	691	673	657	615	663	609	615	648	649	660	700	749
11	8,529	905	625	726	736	665	640	667	654	617	705	698	891
12	9,315	788	753	778	699	695	733	815	771	730	757	872	924
13	9,634	879	725	841	819	711	768	831	750	739	816	827	928
14	9,836	854	681	865	804	856	789	829	840	768	787	838	925
15	10,609	1,086	783	920	870	896	817	828	888	823	871	844	983
16	10,556	920	843	844	851	851	821	959	892	880	873	827	995
17	11,019	964	904	1,029	882	898	838	938	893	827	872	938	1,036
18	11,581	1,089	853	918	969	921	945	913	968	941	931	1,013	1,120
19	11,949	1,001	867	1,097	1,015	988	949	992	1,017	977	957	999	1,090
20	11,393	989	971	937	866	896	847	972	976	894	953	994	1,098
21	11,463	1,054	858	989	866	973	872	859	940	949	962	1,000	1,141
22	12,715	1,130	931	998	973	1,025	983	1,154	1,190	1,068	1,067	1,064	1,132

消防署別・事故種別救急出場件数

事故種別 署別	出場件数	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合 計	12,715	83		1	1,675	92	108	1,540	81	210	7,549	1,376
中央	4,003	23			488	23	41	459	28	62	2,291	588
南	5,832	41			862	50	57	688	34	90	3,498	512
西	2,880	19		1	325	19	10	393	19	58	1,760	276

消防署別・月別救急出場件数

事故種別 署別	出場件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	12,715	1,130	931	998	973	1,025	983	1,154	1,190	1,068	1,067	1,064	1,132
中央	4,003	369	278	322	310	300	309	358	374	328	350	331	374
南	5,832	511	422	451	435	505	471	510	550	491	482	491	513
西	2,880	250	231	225	228	220	203	286	266	249	235	242	245

市町別救急出場件数

(△：減)

年 別		市町別	合 計	甲府市	甲斐市	中央市	昭和町	中央道	管 外
平成 22 年		出場件数 (件)	12,715	9,124	1,719	1,054	781	31	6
		搬送人員 (人)	11,891	8,447	1,635	1,015	761	27	6
平成 21 年		出場件数 (件)	11,463	8,077	1,674	967	698	38	9
		搬送人員 (人)	10,618	7,458	1,577	878	658	37	10
比 較	増 減	出場件数 (件)	1,252	1,047	45	87	83	△ 7	△ 3
		搬送人員 (人)	1,273	989	58	137	103	△ 10	△ 4
	%	出場件数	10.9	13.0	2.7	9.0	11.9	△ 18.4	△ 33.3
		搬送人員	12.0	13.3	3.7	15.6	15.7	△ 27.0	△ 40.0

市町別事故種別救急出場件数

事故種別 市町別	合 計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合 計	12,715	83		1	1,675	92	108	1,540	81	210	7,549	1,376
甲府市	9,124	62			1,137	56	89	1,122	61	144	5,418	1,035
甲斐市	1,719	11		1	225	13	5	218	9	42	1,057	138
中央市	1,054	6			146	15	7	110	5	14	624	127
昭和町	781	4			150	8	7	87	6	10	438	71
中央道	31				16			3			12	
管 外	6				1							5

中央自動車道救急出場状況

担当区域 上り線 甲府昭和インター ～ 一宮御坂インター (17.0km)

下り線 甲府南インター ～ 韮崎インター (18.9km)

区 分 年 別	出場件数	搬送人員
平成22年	31件	27人
平成21年	38件	34人

※中央自動車道での救急出場件数は、31件で昨年に比べ7件減である。
 出場件数31件の内訳は、交通事故16件、急病12件、一般負傷3件で、
 搬送された人の内訳は、交通事故12人、急病12人、一般負傷3人である。

年齢別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分 搬送人員 性別			合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計			計	11,891	9		1,761	89	111	1,471	78	155	7,084	1,133
			男	6,177	6		925	77	94	712	51	64	3,660	588
			女	5,714	3		836	12	17	759	27	91	3,424	545
年 齢 別	0～4	663	男	366			10			67			222	67
			女	297			17			36	1		189	54
	5～9	223	男	137			45		2	33			49	8
			女	86			24			20			36	6
	10～19	689	男	386			169	3	52	54	4	3	88	13
			女	303			140		8	18	2	12	111	12
	20～29	953	男	461	1		156	7	18	30	15	16	208	10
			女	492			123	1	4	14	6	24	284	36
	30～39	991	男	513			135	15	5	39	6	10	272	31
			女	478			108	3	4	26	4	27	233	73
	40～49	948	男	558			121	20	12	46	11	18	292	38
			女	390			105	4	1	31	3	7	216	23
	50～59	988	男	603	2		108	15	2	65	11	5	330	65
			女	385	2		87	2		33	1	6	223	31
	60～69	1,553	男	946	2		95	11	3	102	4	6	624	99
			女	607			120	2		68	7	6	350	54
	70～79	1,930	男	1,037	1		56	6		119		3	737	115
			女	893	1		75			146	1	4	572	94
	80才以上	2,953	男	1,170			30			157		3	838	142
			女	1,783			37			367	2	5	1,210	162
	年齢不明		男											
			女											

傷病程度別男女別搬送人員

事故種別 傷病程度		合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	計	11,891	9			1,761	89	111	1,471	78	155	7,084	1,133
	男	6,177	6			925	77	94	712	51	64	3,660	588
	女	5,714	3			836	12	17	759	27	91	3,424	545
死 亡	計	67				4			1		4	56	2
	男	33				3					4	25	1
	女	34				1			1			31	1
重 症	計	758				62	7	1	95	4	22	383	184
	男	394				40	7	1	45	2	13	191	95
	女	364				22			50	2	9	192	89
中 等 症	計	4,900	4			239	23	28	499	12	89	3,131	875
	男	2,550	2			135	20	24	178	7	35	1,696	453
	女	2,350	2			104	3	4	321	5	54	1,435	422
軽 症	計	6,166	5			1,456	59	82	876	62	40	3,514	72
	男	3,200	4			747	50	69	489	42	12	1,748	39
	女	2,966	1			709	9	13	387	20	28	1,766	33
そ の 他	計												
	男												
	女												

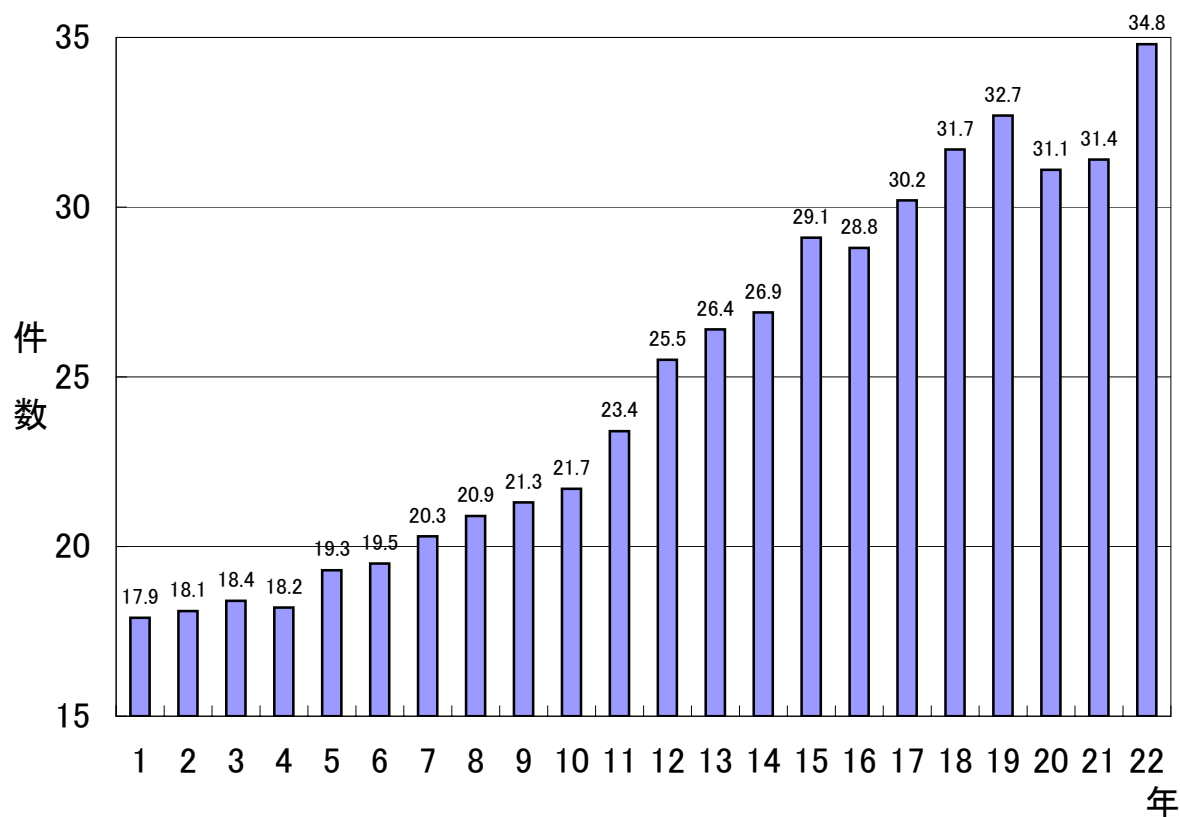
時間別救急出場件数

事故種別 区分		合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等	そ の 他
時間別内訳	合 計	12,715	83		1	1,675	92	108	1,540	81	210	7,549	1,129	1	69	177
	0～1	338	1			29			26	3	9	253	9			8
	1～2	306	2			23	1		28	8	6	223	9			6
	2～3	305	4			24			31	8	9	216	7			6
	3～4	230	3			15			24	3	7	167	6			5
	4～5	215				19	1		25	5	3	152	5			5
	5～6	273	2			16	1		31	2	8	197	6		1	9
	6～7	309	1			26			42		8	222	7			3
	7～8	475	4			81	3		55	2	7	305	6		2	10
	8～9	667	2			117	7	2	76	2	7	422	24		3	5
	9～10	732	3		1	92	4	6	91	3	8	391	124		5	4
	10～11	751	6			80	17	17	87		8	383	139		6	8
	11～12	672	7			69	6	14	99	1	7	338	122		4	5
	12～13	697	3			87	5	12	82	1	7	377	111		5	7
	13～14	701	6			68	10	8	88	2	9	406	88		6	10
	14～15	635	1			87	6	11	85	2	9	352	65		7	10
	15～16	672	4			97	6	4	86		17	368	83		2	5
	16～17	641	3			122	8	6	85	1	11	315	78		6	6
	17～18	676	6			139	7	14	84	2	4	323	79		9	9
	18～19	743	7			127	3	6	105	6	10	409	51		3	16
	19～20	631	3			105		1	78	6	13	379	34		5	7
	20～21	603	6			87	4	5	67	4	6	396	23			5
	21～22	577	4			68	2	2	66	7	16	388	19		1	4
	22～23	489	2			61	1		50	7	14	318	19		1	16
	23～24	377	3			36			49	6	7	249	15	1	3	8

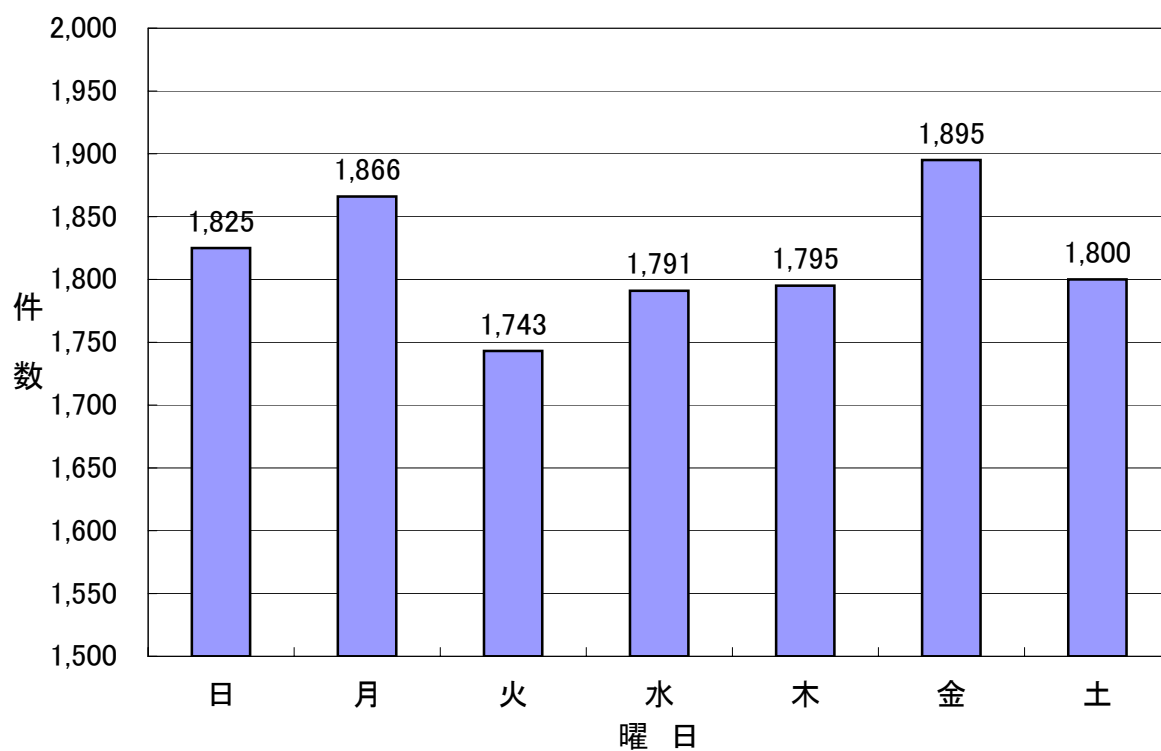
事故種別診療科目別搬送人員

<div>事故種別</div> <div>診療科目別</div>	合 計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合 計	11,891	9			1,761	89	111	1,471	78	155	7,084	1,133
内 科	5,733	4			59	4	14	89	4	68	4,973	518
外 科	891				336	17	12	295	30	16	130	55
整形外科	2,055				984	50	57	660	25	6	173	100
脳外科	1,426				208	9	16	281	10		750	152
小児科	630				3		4	31	1		485	106
産婦人科	169				4			1		1	56	107
精神科	114				3					8	79	24
救急科	666	4			158	6	3	80	8	55	316	36
眼 科	17					2	4	6			3	2
皮膚科	13	1						6			6	
泌尿器科	61										54	7
耳鼻科	55				1		1	10			38	5
その他	61				5	1		12		1	21	21

1日平均救急出場件数の年別比較



曜日別救急出場状況



覚 知 別 救 急 出 場 件 数

事故種別 覚知別	合 計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	そ の 他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等	その他
119専用	7,932	56			344	57	30	1,033	30	94	5,229	954		26	79
駆け付け	92				11		1	16			59	3			2
携帯119	3,931	24			1,034	35	75	453	37	90	2,093	11			79
加入電話	560	1		1	242		1	26	12	21	97	108		43	8
警察電話	37	1			23			1	2	4	5				1
自己覚知	54				7						4	43			
そ の 他	109	1			14		1	11		1	62	10	1		8
合 計	12,715	83		1	1,675	92	108	1,540	81	210	7,549	1,129	1	69	177

上 級 ・ 普 通 ・ 基 礎 救 命 講 習 受 講 者 数

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
上 級 救命講習	回 数									1				1
	人 数									54				54
普 通 救命講習	回 数	6	8	10	9	8	17	11	15	12	32	21	10	159
	人 数	80	153	179	160	138	313	154	296	179	476	283	122	2,533
基 礎 救命講習	回 数	5	11	4	6	15	33	29	10	15	8	9	6	151
	人 数	97	319	90	174	298	938	697	351	323	218	309	158	3,972

救助活動の前年比較

(△：減)

事故種別	区 分	平成22年	平成21年	比 較	
				増 減	%
合 計	出場件数	214	189	25	13.2
	救助人員	72	54	18	33.3
建物火災	出場件数	54	37	17	45.9
	救助人員	1	1	0	0.0
その他の火災 (建物以外)	出場件数	11	18	△ 7	△ 38.9
	救助人員	0	0	0	
交通事故	出場件数	72	71	1	1.4
	救助人員	47	31	16	51.6
水難事故	出場件数	4	2	2	100.0
	救助人員	2	2	0	0.0
自然災害	出場件数	0	0	0	
	救助人員	0	0	0	
機械による事故	出場件数	0	3	△ 3	△ 100.0
	救助人員	0	1	△ 1	△ 100.0
建物等による事故	出場件数	23	8	15	187.5
	救助人員	9	5	4	80.0
ガス及び酸欠事故	出場件数	3	5	△ 2	△ 40.0
	救助人員	2	4	△ 2	△ 50.0
破裂事故	出場件数	0	0	0	
	救助人員	0	0	0	
その他の事故	出場件数	47	45	2	4.4
	救助人員	11	10	1	10.0

市町別事故種別救助出場件数

市町別 事故種別	甲 府 市	甲 斐 市	中 央 市	昭 和 町	中 央 道	管 外	計
建物火災	37	7	6	4			54
その他の火災 (建物以外)	9	1	1				11
交通事故	44	8	11	6	3		72
水難事故	3	1					4
自然災害							0
機械による事故							0
建物等による事故	18	3	1	1			23
ガス及び酸欠事故	3						3
破裂事故							0
その他の事故	35	5	4	3			47
合 計	149	25	23	14	3	0	214

市町別月別救助出場件数

市町別 月別	甲府市	甲斐市	中央市	昭和町	中央道	管外	計
1 月	16	3	2	1			22
2 月	8	3	1				12
3 月	12	1	2	1			16
4 月	14	1	2	1	1		19
5 月	8	1	1				10
6 月	7	1	3	1	1		13
7 月	9	2	4				15
8 月	10	4	1	2			17
9 月	16	3	2	1			22
10 月	16	3	2	2			23
11 月	14	3	2	3			22
12 月	19		1	2	1		23
合 計	149	25	23	14	3	0	214

曜日別事故種別救助出場件数

<div> <div>事故種別</div> <div>曜日別</div> </div>	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物火災	その（建物以外）火災									
月	9	1	4	1			5			9	29
火	5	4	11	1			2			5	28
水	10	1	17	2						7	37
木	10		9				7	1		5	32
金	5	2	17				3			8	35
土	7	2	7				2	1		5	24
日	8	1	7				4	1		8	29
合 計	54	11	72	4	0	0	23	3	0	47	214

時間別事故種別救助出場件数

<div> <div>事故種別</div> <div>曜日別</div> </div>	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物火災	その他(建物以外)火災									
0～2	2	1	7				3			3	16
2～4	7		4					1		2	14
4～6	1	1	3	1						1	7
6～8	5		5				1	1			12
8～10	1	1	5	1			3			7	18
10～12	8	1	7				3	1		7	27
12～14	4	4	8				5			6	27
14～16	5		8				2			8	23
16～18	6		8	1			4			6	25
18～20	5	1	7				1			3	17
20～22	6	2	9							2	19
22～24	4		1	1			1			2	9
合 計	54	11	72	4	0	0	23	3	0	47	214

5

予 防

- 予防行政の概要
- 指定防火対象物状況
- 指定防火対象物階層状況
- 建築同意棟数状況
- 建築同意棟数及び面積
- 防火対象物予防査察実施状況
- 消防用設備等設置状況
- 各種届出検査・願出調査等処理状況
- 危険物施設年度別・部署別事務処理状況
- 危険物施設市町別設置状況
- 危険物施設年度別・部署別設置状況
- 危険物製造所等部署別査察実施状況
- 防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況
- 広報活動の概要
- 幼年消防クラブの目的
- 女性防火クラブの目的
- 幼年消防・女性防火クラブの現況
- 防災教室実施状況
- 庁舎・施設等の見学状況
- 消防音楽隊の概要

予 防 行 政 の 概 要

1 防火対象物の現況

甲府地区広域行政圏域の建築物は、都市化の伸展や生活様式の多様化などにより複雑化、大規模化の傾向を強めており、特に複合用途高層建築物、大型小売店舗及び社会福祉施設、更には高層共同住宅等が増加しています。

こうした現況下、建築同意事務においては住民が安全で安心して暮らせるよう、設計の段階から完成までを一貫した指導に努めています。

なお、圏域内の指定防火対象物の総数は、平成 23 年 3 月 31 日現在で 10,333 対象物となっており、年々増加しています。

2 査察執行体制の強化と違反処理

管内の指定防火対象物は、前年度に比べ 24 対象物増加し、例年増加の一途をたどっております。こうした中、予防行政に期待する住民ニーズに応えるべく査察執行体制を強化し、年間計画の査察執行率 100%に向け鋭意努力しています。また、県外で発生した高齢者社会福祉施設での火災により、多くの方が犠牲になったことを受け緊急に対象物の立入検査を実施し、入居者の安全確保に指導を徹底しております。

違反処理については、火災予防違反処理規程に基づき実施し、繰り返しの法令違反や悪質な違反に対しては、厳正な措置と違反是正を履行させることにより、違反対象物の絶無に努めています。

3 防火対象物定期点検報告制度

この制度は、火災危険度の高い一定規模・用途等の防火対象物について、専門的知識を有する資格者に定期点検を行わせることにより、防火管理体制を補完し、もって継続的に火災危険を排除し人命安全を確保するものです。この制度ができたことにより、「適マーク制度」は廃止されましたが、当制度の適用対象外とされる防火対象物についても、「自主点検報告制度」を活用し防火安全対策を図り、これに合わせ、防火管理体制指導マニュアルに基づいた自主検証制度を推進することにより、関係者の防火管理意識の高揚と、手薄となる夜間防火管理体制の強化を図っています。

4 小規模複合用途ビル避難訓練等の推進

防火対象物の利用形態が複雑多様化する中、小規模複合用途ビル内はニーズに合わせ頻繁に改築・用途変更等が行われていることを踏まえ、違反是正の徹底は勿論の事、初期消火、通報及び避難誘導と災害時における初動体制の強化を図り、防火管理体制の向上を推進しています。

5 住宅防火対策の推進

消防法及び甲府地区広域行政事務組合火災予防条例の一部改正により、平成23年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。これを受けて、住宅防火の重要性について自治会連合会や消防団、女性防火クラブを通じて地域に密着した広報を行い、設置普及に取り組んでいます。

6 危険物の規制事務

近年、危険物施設の老朽化が進んでおり全国的に危険物の漏洩・流出事故が増加傾向にあり、当本部管内の危険物施設も漏洩・流出等による環境汚染等が心配されるなか、最近の消防法の改正等に伴う地下貯蔵タンク等の更新を指導しており、危険物施設の事故を未然に防止するため、危険物の保安の確保を積極的に推進しております。また、危険物施設で起きる事故の原因に取扱作業の誤りがあります。人為的な取扱いが原因の事故を無くすために、危険物施設の立入検査等を積極的に行い、危険物の適正な貯蔵・取扱いを啓発するとともに、違反事項があった場合は是正改修等を徹底指導しております。

7 消防広報

最新の消防情報の周知を図るため、報道機関をはじめ、市・町の広報誌や消防広報誌「こうふ広域 119」及びインターネットを活用し広報活動を行っています。

また、火災予防運動中の街頭啓発や火災予防巡回広報、消防訓練指導、救命講習会、更には消防音楽隊の各種イベントでの演奏等を通じて火災予防の普及啓発に努めています。

消防庁舎の見学は、住民の防災学習の場として子供から大人まで幅広い層の利用をいただいております、平成22年度は70団体、2,934名が訪れました。

指定防火対象物状況

平成23年 3月31日現在

政令別表第一 項別			指定防火対象物				防火管理者を必要とする対象物			
			合計	中央署	南署	西署	合計	中央署	南署	西署
合 計			10,333	3,149	4,687	2,497	3,044	1,110	1,283	651
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	14	3	10	1	13	2	10	1
	ロ	公会堂、集会場	70	24	33	13	59	18	29	12
(2)	イ	キャバレー、カフェー類	7	4	3		4	1	3	
	ロ	遊技場、ダンスホール	42	10	25	7	41	9	25	7
	ハ	性風俗関連営業の店舗	0				0			
	ニ	カラオケボックス等	14	5	6	3	13	4	6	3
(3)	イ	待合、料理店類	12	8	2	2	9	8	1	
	ロ	飲食店	358	100	175	83	290	81	139	70
(4)	百貨店、物品販売店舗		693	160	348	185	539	124	272	143
(5)	イ	旅館、ホテル類	105	74	19	12	84	58	19	7
	ロ	寄宿舍、共同住宅	3,712	1,108	1,583	1,021	243	59	128	56
(6)	イ	病院、診療所、助産所	233	89	91	53	96	39	40	17
	ロ	老人・児童福祉施設類	121	28	63	30	93	25	54	14
	ハ	老人デイサービス類	184	47	72	65	136	43	42	51
	ニ	幼稚園、特別支援学校	65	25	16	24	57	23	16	18
(7)	小学校他各種学校類		447	188	142	117	138	50	53	35
(8)	図書館、博物館、美術館類		10	5	3	2	10	5	3	2
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類	6	5		1	5	5		
	ロ	一般公衆浴場	31	13	9	9	17	8	5	4
(10)	停車場、発着場		3	1	1	1	2	1	1	
(11)	神社、寺院、教会類		39	33	3	3	22	16	3	3
(12)	イ	工場、作業場	893	130	592	171	126	9	93	24
	ロ	映画・テレビスタジオ	3	1	2		2	1	1	
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	137	71	49	17	5	3	1	1
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫	0				0			
(14)	倉庫		876	104	580	192	27	3	23	1
(15)	前各項に該当しない事業場		1,143	387	512	244	343	165	131	47
(16)	イ	複合用途〈特定〉	863	417	265	181	625	322	175	128
	ロ	複合用途〈非特定〉	233	96	81	56	41	24	10	7
(17)	重要文化財等建造物		16	10	2	4	4	4		
(18)	延長50m以上のアーケード		3	3			0			

指 定 防 火 対 象 物 階 層 状 況

平成23年 3月31日現在

項目 項 別		指定防火対象物数（棟別）						用途別及び階数別による指定防火対象物数（棟別）																
		平成21年度 末 現 在	使用 開始	潜在	用途変更等		平成22年度 末 現 在	地 下 階			地 上 階													
					増加	減少		3	2	1	1	2	3	4	5階未満 小 計	5	6	7	8	9	10	11階 以上	5階以上 小 計	合 計
(1)	イ	14					14			1	2	8	1	3	14									14
	ロ	68	1	1	2	2	70			7	31	25	8	3	67	2						1	3	70
(2)	イ	7					7			1		5	1	1	7									7
	ロ	42					42			1	8	31	2	1	42									42
	ハ																							
	ニ	13			1		14				4	8	1	1	14									14
(3)	イ	12					12				1	5	5	1	12									12
	ロ	360	3		3	8	358			7	174	124	53	4	355	2	1						3	358
(4)		687	20		4	18	693	2		5	389	223	53	18	683	6	2	1		1			10	693
(5)	イ	107	1			3	105		1	22	6	38	16	11	71	9	10	1	4	2	6	2	34	105
	ロ	3,693	24			5	3,712			18	30	2,646	637	221	3,534	84	30	22	14	4	7	17	178	3,712
(6)	イ	232	2			1	233			12	43	114	45	17	219	8		3	1		2		14	233
	ロ	115	5		2	1	121			5	40	54	15	6	115	5	1						6	121
	ハ	178	6		3	3	184				75	99	8	1	183	1							1	184
	ニ	64	1				65				28	36	1		65									65
(7)		443	7			3	447			16	107	147	123	40	417	17	10	2	1				30	447
(8)		10					10	1		3	3	4	2	1	10									10
(9)	イ	6					6					1	1	4	6									6
	ロ	31					31				11	18	2		31									31
(10)		3					3					2	1		3									3
(11)		37	1		1		39			3	18	15	3	3	39									39
(12)	イ	904	2		4	17	893			6	362	445	66	14	887	5			1				6	893
	ロ	3					3				1	1	1		3									3
(13)	イ	137	1			1	137			2	105	23	4	2	134			1	1	1			3	137
	ロ																							
(14)		892	2		3	21	876			5	467	350	49	8	875	1							1	876
(15)		1,143	8		5	13	1,143		3	82	172	522	245	94	1,033	38	40	16	8	7	1		110	1,143
(16)	イ	856	6		12	11	863	1	3	62	50	348	238	120	756	43	24	16	12	6	3	3	107	863
	ロ	234	2		2	5	233			7	16	88	75	23	202	16	3	6	3	1	2		31	233
(17)		16					16				13	3			16									16
(18)		2	1				3				3				3									3
合 計		10,309	93	1	42	112	10,333	4	7	265	2,159	5,383	1,656	597	9,796	237	121	68	45	22	21	23	537	10,333

建築同意棟数状況

平成22年4月1日～平成23年3月31日

政令別表第一 項別		同意棟数					不同意棟数				
		合計	新築	増築	改築	用途 変更他	合計	新築	増築	改築	用途 変更他
合 計		817	759	47		11					
(1)	イ 劇場、映画館、観覧場										
	ロ 公会堂、集会場	3	2	1							
(2)	イ キャバレー、カフェー類	1	1								
	ロ 遊技場、ダンスホール	2	2								
	ハ 性風俗関連営業の店舗										
	ニ カラオケボックス等										
(3)	イ 待合、料理店類										
	ロ 飲食店	12	11	1							
(4)	百貨店、物品販売店舗	49	47	2							
(5)	イ 旅館、ホテル類										
	ロ 寄宿舎、共同住宅	36	35			1					
(6)	イ 病院、診療所、助産所	13	10	3							
	ロ 老人・児童福祉施設類	12	10	2							
	ハ 老人デイサービス類	21	17	2		2					
	ニ 幼稚園、特別支援学校	1		1							
(7)	小学校他各種学校類	31	25	6							
(8)	図書館、博物館、美術館類										
(9)	イ 蒸気・熱気浴場類										
	ロ 一般公衆浴場										
(10)	停車場、発着場										
(11)	神社、寺院、教会類	10	7	3							
(12)	イ 工場、作業場	19	18	1							
	ロ 映画・テレビスタジオ	2	2								
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	33	31	2							
	ロ 飛行機、回転翼機の格納庫										
(14)	倉庫	89	86	1		2					
(15)	前各項に該当しない事業場	234	223	10		1					
(16)	イ 複合用途〈特定〉	27	22	1		4					
	ロ 複合用途〈非特定〉	7	5	1		1					
(17)	重要文化財等建造物										
(18)	延長50m以上のアーケード	4	4								
住宅・その他		211	201	10							

建築同意した棟数及び面積

平成22年4月1日～平成23年3月31日

政令別表第一 項別		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
		棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
合 計		817	563,007	690	342,166	862	342,440
(1)	イ 劇場、映画館、観覧場						
	ロ 公会堂、集会場	3	355	9	1,801	6	606
(2)	イ キャバレー、カフェー類	1	188	1			
	ロ 遊技場、ダンスホール	2	5,841			3	5,199
	ハ 性風俗関連営業の店舗						
	ニ カラオケボックス等						
(3)	イ 待合、料理店類						
	ロ 飲食店	12	1,437	15	3,058	25	5,012
(4)	百貨店、物品販売店舗	49	21,779	52	26,287	48	38,447
(5)	イ 旅館、ホテル類			1	1,895	1	1,969
	ロ 寄宿舍、共同住宅	36	25,911	43	17,637	78	64,825
(6)	イ 病院、診療所、助産所	13	14,337	13	24,055	18	16,096
	ロ 老人・児童福祉施設類	12	14,564	4	3,650	29	25,394
	ハ 老人デイサービス類	21	7,192	27	5,913	6	355
	ニ 幼稚園、特別支援学校	1	239				
(7)	小学校他各種学校類	31	52,532	20	24,988	23	27,511
(8)	図書館、博物館、美術館類						
(9)	イ 蒸気・熱気浴場類						
	ロ 一般公衆浴場					1	71
(10)	停車場、発着場					1	19
(11)	神社、寺院、教会類	10	1,843	9	1,670	7	840
(12)	イ 工場、作業場	19	6,871	9	1,246	8	1,453
	ロ 映画・テレビスタジオ	2	2,374				
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	33	24,434	25	9,607	68	2,640
	ロ 飛行機、回転翼機の格納庫						
(14)	倉庫	89	4,543	87	5,855	135	7,275
(15)	前各項に該当しない事業場	234	84,430	168	32,653	187	18,805
(16)	イ 複合用途〈特定〉	27	258,507	18	134,723	18	94,027
	ロ 複合用途〈非特定〉	7	3,296	10	12,187	10	2,147
(17)	重要文化財等建造物						
(18)	延長50m以上のアーケード	4		1	428		
住宅・その他		211	32,334	178	34,513	190	29,749

防火対象物予防査察実施状況

平成22年4月1日～平成23年3月31日

<div>項目</div> <div>査察区分</div>	対象物総数	実施数	査察執行基準
合 計	10,333	3,317	
甲種査察対象物	112	103	1年に1回
乙種査察対象物	754	446	2年に1回
丙種査察対象物	1,412	467	3年に1回
その他査察対象物	8,055	2,301	4年に1回

消防用設備等設置状況

平成23年3月31日現在

<div> <div>設備名称</div> <div>政令別表第一 項別</div> </div>			屋内 消火 栓 設備	ス プ リ ン ク ラ ー 設備	水 噴 霧 消 火 設備 等	屋 外 消 火 栓 設備	自 動 火 災 報 知 設備	避 難 器 具	誘 導 灯	排 煙 設備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設備
合 計			752	106	122	86	3,879	1,050	3,135	18	191	27
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	6	1	1	1	10	2	9			
	ロ	公会堂、集会場	19	2	1		63	14	62		1	
(2)	イ	キャバレー、カフェー類					4	1	7			
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	1	1		39	6	42		1	
	ハ	性風俗関連営業の店舗										
	ニ	カラオケボックス等					12	5	10			
(3)	イ	待合、料理店類	3				8	10	12			
	ロ	飲食店	4				150	60	306			
(4)		百貨店、物品販売店舗	43	23	14	3	444	30	627	11	5	
(5)	イ	旅館、ホテル類	30	3	4	1	103	96	105		21	3
	ロ	寄宿舍、共同住宅	13	1	7		378	318	66		63	21
(6)	イ	病院、診療所、助産所	22	13	4	1	144	35	212		15	1
	ロ	老人・児童福祉施設類	10	42	4		111	34	110		2	
	ハ	老人デイサービス類	2	4			147	40	150			
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5				52	28	48			
(7)		小学校他各種学校類	221		1	1	364	72	105		9	
(8)		図書館、博物館、美術館類	8			1	10	1	10			
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類					5	4	6			
	ロ	一般公衆浴場	1				7	2	16			
(10)		停車場、発着場	1				1	1	1			
(11)		神社、寺院、教会類					7	2	10			
(12)	イ	工場、作業場	150	2	11	49	422	11	157		5	
	ロ	映画、テレビスタジオ	2				2	2	2			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場			37		52		15			
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫										
(14)		倉庫	71			8	283		96			
(15)		前各項に該当しない事業場	95		19	7	373	92	376		38	
(16)	イ	複合用途〈特定〉	32	1	13	14	633	175	526	7	16	1
	ロ	複合用途〈非特定〉	9	15	5		39	9	49		12	1
(17)		重要文化財等建造物					16					
(18)		延長50m以上のアーケード									3	

各種届出検査・願出調査等処理状況

項 目		年 度 別 件 数		
		平成22年度	平成21年度	平成20年度
届 出	工事整備対象設備等着工届	295	202	215
	消防用設備等設置届	593	357	471
	防火対象物使用開始届	193	151	179
	防火管理者選任又は解任届	419	789	880
	消防計画届	282	706	719
	消防用設備等点検結果報告書	282	3,205	3,176
	圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵又は取扱い開始届	69	34	165
	熱風炉設置届		3	4
	多量の可燃性ガス又は蒸気を発生する炉又はかまど設置届			
	上記以外の据え付け面積2㎡以上の炉又はかまど設置届			
	入力の合計が350キロワット以上の厨房設備設置届	1		
	入力70キロワット以上の温風暖房機設置届			
	ボイラー又は入力70キロワット以上の給湯湯沸設備設置届	42	26	38
	燃料電池発電設備設置届			
	乾燥設備設置届		3	3
	サウナ設備設置届			1
	入力70キロワット以上のヒートポンプ又は冷暖房設備設置届	3	4	1
	火花を生ずる設備設置届			
	放電加工機設置届			1
	高圧又は特別高圧の変電設備設置届	41	37	56
	内燃機関による発電設備設置届	15	8	20
	屋内に設ける蓄電池設備設置届	22	18	16
	設備容量2KVA以上のネオン管設備設置届		2	1
	水素ガスを充填する気球の設置届			
	指定数量未満の危険物の貯蔵又は取扱い（開始届）	34	27	24
	指定数量未満の危険物の貯蔵又は取扱い（廃止届）	14	16	19
	指定可燃物の貯蔵又は取扱い届	1	1	
検 査 等	旅館の営業許可に伴う照会検査	4		2
	液化石油ガス販売事業許可に伴う意見書交付申請検査			
	防災表示者登録申請調査	2		
	建築物工事状況中間検査・現地調査等	180	218	149
	無確認建物調査			
願 出 調 査	火災の発生危険に伴う調査			
	建築物にかかる調査			
	危険物にかかる調査			6
	その他願出に基づく調査			

危険物施設年度別・部署別事務処理状況

平成22年4月1日～平成23年3月31日

申請・届出種別		部署別	合 計	本 部	中 央 署	南 署	西 署
平成20年度			556	211	22	215	108
平成21年度			701	279	38	263	121
平成22年度			421	180	19	159	63
貯 蔵 所	設置許可		8	3	2	3	
	設置完成検査		4	1		3	
	変更許可		77	35		29	13
	変更完成検査		62	23		28	11
	完 成 検 査 前 検 査	基礎地番検査					
		溶接部検査					
		水圧検査	3	1	1	1	
		水張検査	5			5	
取 扱 所	保安検査						
	仮使用承認		63	24		27	12
	仮貯蔵・仮取扱承認		3		1		2
	予防規程		6	5			1
	完成検査済証等再交付						
	譲渡引渡		22	19	1	1	1
	品名数量変更		15	1	3	10	1
	廃止		23	7	10	3	3
	危険物保安監督者選任		41	17		17	7
	危険物保安監督者解任		36	14		16	6
	軽微な変更等		53	30	1	16	6
	取下げ願						

危険物施設市町別設置状況

平成23年3月31日現在

市 町 名 区 分			合 計	甲 府 市	甲 斐 市	中 央 市	昭 和 町
危険物施設保有事業所数			533	359	77	58	39
合 計			832	489	105	174	64
製 造 所			4			4	
貯 蔵 所	小 計		539	317	63	125	34
	屋内貯蔵所		103	54	5	30	14
	屋外タンク貯蔵所		47	23	8	16	
	屋内タンク貯蔵所		21	14	3	2	2
	地下タンク貯蔵所		260	177	30	41	12
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		98	40	16	36	6
	屋外貯蔵所		10	9	1		
取 扱 所	小 計		289	172	42	45	30
	給油取扱所	営業用	116	73	20	12	11
		自家用	52	27	11	7	7
	第一種販売取扱所		5	5			
	第二種販売取扱所						
	移送取扱所						
	一般取扱所		116	67	11	26	12

危険物施設年度別・部署別設置状況

平成23年3月31日現在

区 分			平成22年度					平成 21 年度	平成 20 年度
			総 数	本 部	中 央 署	南 署	西 署		
危険物施設 保有事業所数			533	144	108	205	76	546	557
合 計			832	275	127	341	89	851	872
製 造 所			4			4		4	4
貯 蔵 所	小 計		539	141	103	233	62	551	567
	屋内貯蔵所		103	9	9	76	9	104	103
	屋外タンク貯蔵所		47	15	1	29	2	47	49
	屋内タンク貯蔵所		21		10	8	3	24	25
	地下タンク貯蔵所		260	12	83	118	47	266	276
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所		98	98				100	104
	屋 外 貯 蔵 所		10	7		2	1	10	10
取 扱 所	小 計		289	134	24	104	27	296	301
	給油取扱所	営業用	116	116				120	124
		自家用	52		2	36	14	54	55
	第一種販売取扱所		5		4	1		5	5
	第二種販売取扱所								
	移送取扱所								
	一 般 取 扱 所		116	18	18	67	13	117	117

危険物製造所等部署別査察実施状況

平成22年4月1日～平成23年3月31日

製造所等別 区分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第一 種 販 売 取 扱 所	第二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
合 計	危険物 施設数	832	4	103	47	21	260		98	10	168	5			116
	査察数	677	3	84	45	7	169		96	7	166	2			98
本 部	危険物 施設数	275		9	15		12		98	7	116				18
	査察数	277		9	15		12		96	6	121				18
中 央 署	危険物 施設数	127		9	1	10	83				2	4			18
	査察数	73		9	1	1	51				2	1			8
南 署	危険物 施設数	341	4	76	29	8	118			2	36	1			67
	査察数	264	3	56	27	4	76				36	1			61
西 署	危険物 施設数	89		9	2	3	47			1	14				13
	査察数	63		10	2	2	30			1	7				11

防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況

消防法施行令第3条第1項第1号及び第2号に規定する防火対象物において、防火管理上必要な業務を適切に遂行することができる管理的または監督的な地位にある者を対象に講習会を実施している。

平成23年3月31日現在

種別 年度	甲種防火管理 講習修了者数 (人)	乙種防火管理 講習修了者数 (人)	甲種防火管理 再講習受講者数 (人)
合 計	13,247	126	188
平成22年度	283		
平成21年度	321		
平成20年度	346		36
平成19年度	372		52
平成18年度	318		100
平成17年度	284		
平成16年度	290		
平成15年度	329		
平成14年度	413		
平成13年度	320		
平成12年度	264		
平成11年度	285		
平成10年度	343		
平成9年度	371		
平成8年度	351		
平成7年度	430		
平成6年度以前	7,927	126	

広報活動の概要

平成23年3月31日現在

項 目	内 容	回 数
消防情報	春・秋の火災予防運動期間の火災予防の啓発、甲種防火管理新規講習の開催案内及び住宅用火災警報器の設置啓発等構成市町発刊広報誌への掲載。刊行誌への消防情報提供	7
報道機関	インターネットホームページによる消防情報提供	年間
火災予防運動	報道機関への情報提供	32
女性防火クラブ	春・秋の火災予防運動、文化財防火デー等各種事業、訓練におけるポスター・チラシなどの配布	5
住宅防火	春・秋の火災予防運動中における街頭啓発の実施	2
消防訓練等	独居老人住宅の防火診断の実施	年間
救急法指導	自衛消防組織や各種団体等を対象に、消防訓練及び防火映画、地震体験車による震度体験、消火器の使用方法などの指導	299回 37,545人
巡回広報	自治会や事業所等を対象に、基礎・普通・上級救命講習会の開講	307回 6,347人
放送設備による広報	火災予防の巡回広報	年間
広報誌	春・秋の火災予防運動期間中における構成市町の防災行政無線その他の放送設備による火災予防の啓発	2
その他	消防広報誌「こうふ広域119」及び各消防署・出張所により作成した広報誌の発刊配布	2
	庁舎見学、音楽隊演奏会等	75

幼年消防クラブの目的

火災の原因の中で、子供の火遊びによる火災が依然として多いことから幼年期において正しい火の取り扱いに対する「しつけ」と消防の仕事を理解することにより火遊びによる火災の撲滅を目的とする。

女性防火クラブの目的

地域における火災予防のため、家庭における火気取扱い責任者に位置づけられる主婦を対象に、火災予防の知識、火を使用する器具等の安全な取り扱い、初期消火訓練、救急講習及びイベントなどの広報活動お行い、安全安心な地域社会づくりを目指すことを目的とする。

幼年消防・女性防火クラブの現況

幼年消防クラブ		女性防火クラブ	
クラブ数	クラブ員	クラブ数	クラブ員
74	6,942	4	103

防災教室実施状況

平成22年4月1日～平成23年3月31日

区分 市町別		合計	自主防災組織				幼稚園・保育園・学校等				事業所			
			中央署	南署	西署	計	中央署	南署	西署	計	中央署	南署	西署	計
合計	回	299	6	3	2	11	22	25	21	68	108	66	46	220
	人	37,545	1,639	185	120	1,944	7,511	7,677	5,116	20,304	5,778	7,636	1,883	15,297
甲府市	回	226	6	2	1	9	22	14	11	47	108	41	21	170
	人	27,496	1,639	155	70	1,864	7,511	3,683	2,891	14,085	5,778	4,670	1,099	11,547
甲斐市	回	36			1	1			10	10			25	25
	人	3,059			50	50			2,225	2,225			784	784
中央市	回	15		1		1		4		4		10		10
	人	3,129		30		30		1,676		1,676		1,423		1,423
昭和町	回	22				0		7		7		15		15
	人	3,861				0		2,318		2,318		1,543		1,543

庁舎・施設等の見学状況

	合計	消防本部・南消防署				中央署	西署
		小計	視 察	学校関係	一 般 (施設めぐり)		
団体数	70	37	1	31	5	22	11
人数	2,934	1,936	13	1,819	104	457	541

消防音楽隊の概要

1. 階級別隊員数

平成23年3月31日現在

階 級	消防司令	消防司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
隊員数	3	6	1	5	0	15

2. 楽器編成

楽 器 名	指揮	フルート	クラリネット	ソプラノサックス	アルトサックス	テナーサックス	バリトンサックス	トランペット	コルネット	フレンチホルン	テナートロンボーン	バストロンボーン	ユーホニウム	チューバ	ベースギター	パーカッション			
																バスドラム	スネアドラム	シンバル	ドラムセット
楽器数	1	0	0	0	1	1	1	4	0	1	2	1	1	0	1	1	0	0	1

3. 演奏状況

区 分	内 容	回数
県 市 町 関 係	甲府市緑化祭り、甲府市民体育大会、甲府市・中央市戦没者慰霊祭	4
消 防 関 係	甲府市消防出初式、退職者送別式	2
そ の 他	全日本一般男子ソフトボール大会	1

6

通 信

- 通信業務の概要
- 通信系統図
- 消防指令センター系統図
- 移動無線局配置表(消防波)
- 携帯無線局配置表(消防波)
- 移動無線局配置表(救急波)
- 緊急通報装置(ふれあいペンダント)通報システム図
- 緊急通報装置(ふれあいペンダント)市町別設置状況
- 受信センター市町別受信状況
- 119番受信状況
- 一般電話・IP電話・携帯電話等からの119番等受信状況
- 気象状況

通 信 業 務 の 概 要

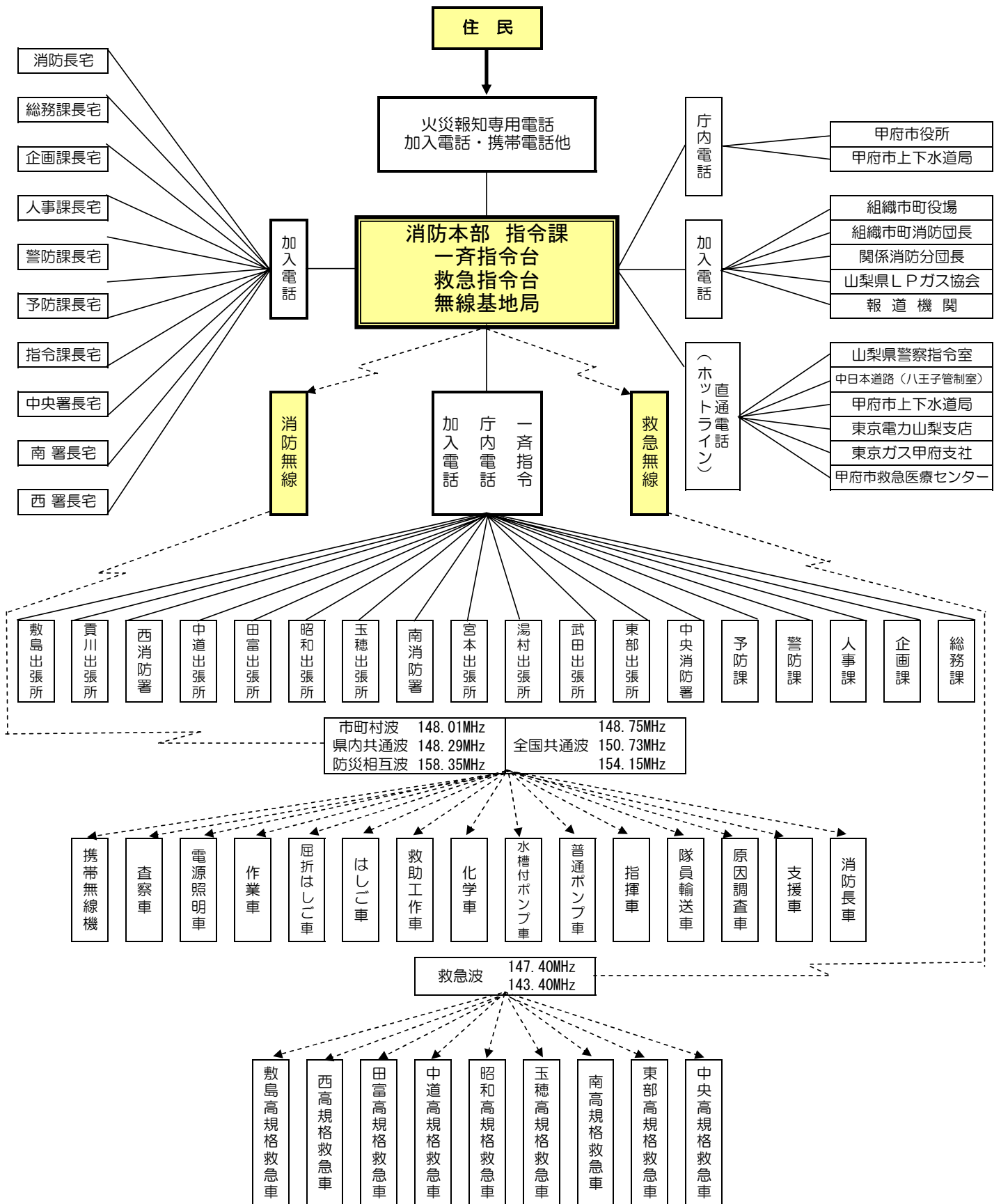
通信指令業務は、迅速で的確な消火、救急、救助活動を行うための中枢的機能であることは言うまでもなく、地域住民の要請に素早く応えるべく職員は日々研鑽努力を重ねています。

日常生活の安全と安心を確保するために、ふれあいペンダント（緊急通報システム）による一人暮らしの高齢者や要援護者の緊急時における通信システムを平成３年から運用を開始し、平成１１年からは聴覚障害者のための１１９番通報手段として、ＦＡＸ１１９システムを導入しております。

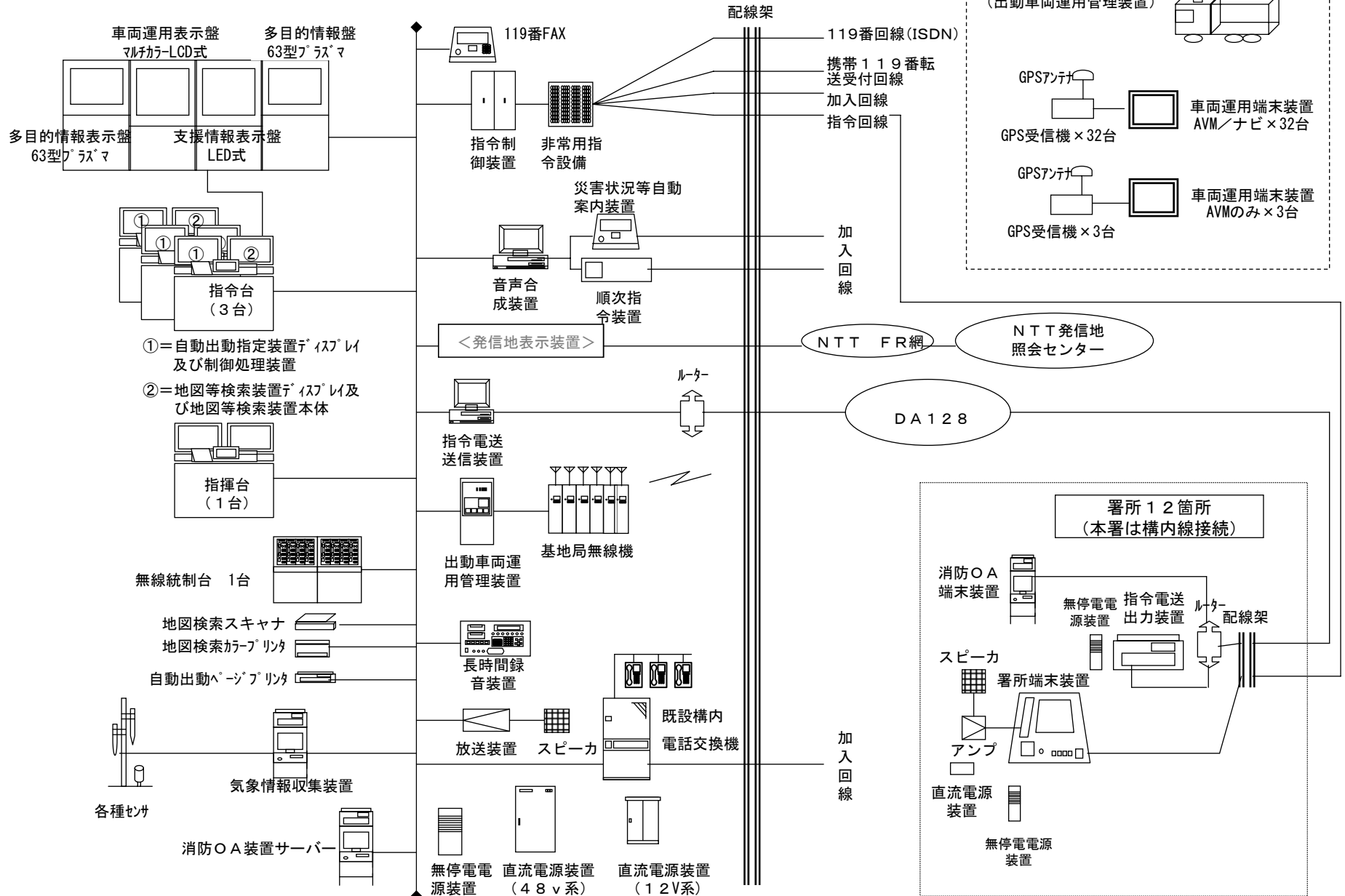
さらに平成１７年３月には、複雑多様化する災害に対応するため消防指令センターを構築し、最新鋭のコンピューターを用いた「地図検索システム」、「発信地表示システム」、「音声合成システム」及び「GPS による直近上位システム」等を導入し、１１９番通報の受信、情報収集及び指令時間等の短縮を図りました。

平成２２年７月には、携帯電話・ＩＰ 電話の位置情報システムが導入され、より迅速かつ効果的な消防活動が可能となりました。

通信系統図



甲府地区消防本部 消防指令センター系統図



移動無線局配置表（消防波）

No.	呼称名	種別	電波型式	周波数 (MHz)	空中線電力 (w)	所 属
0	こうふ しょうぼう	基地局	F 3 E	[148.01 148.29]	10	指令課
1	こうふ 消防長車 1	移動局	F 3 E	//	10	消防本部
2	こうふ 総務 1	移動局	F 3 E	//	10	
3	こうふ 総務 2	移動局	F 3 E	//	10	
4	こうふ 人事 1	移動局	F 3 E	//	10	
5	こうふ 人事 2	移動局	F 3 E	//	10	
6	こうふ 警防 1	移動局	F 3 E	//	10	
7	こうふ 原調 1	移動局	F 3 E	//	10	
8	こうふ 予防 1	移動局	F 3 E	//	10	
9	こうふ 後方支援 1	移動局	F 3 E	//	10	
10	こうふ 隊員輸送 1	移動局	F 3 E	//	10	
11	こうふ 10	移動局	F 3 E	//	10	
12	こうふ 52	移動局	F 3 E	//	10	
13	こうふ 中央指揮 1	移動局	F 3 E	//	10	中央消防署
14	こうふ 中央指揮 2	移動局	F 3 E	//	10	
15	こうふ 中央ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
16	こうふ 中央ポンプ 2	移動局	F 3 E	//	10	
17	こうふ 中央救助 1	移動局	F 3 E	//	10	
18	こうふ 中央はしご 1	移動局	F 3 E	//	10	
19	こうふ 中央原調 1	移動局	F 3 E	//	10	
20	こうふ 中央査察 1	移動局	F 3 E	//	10	
21	こうふ 東部ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
22	こうふ 武田ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
23	こうふ 湯村ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
24	こうふ 湯村作業車 1	移動局	F 3 E	//	10	
25	こうふ 宮本ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
26	こうふ 南指揮 1	移動局	F 3 E	//	10	南消防署
27	こうふ 南指揮 2	移動局	F 3 E	//	10	
28	こうふ 南ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
29	こうふ 南化学 1	移動局	F 3 E	//	10	
30	こうふ 南高度救助 1	移動局	F 3 E	//	10	
31	こうふ 南照明 1	移動局	F 3 E	//	10	
32	こうふ 南はしご 1	移動局	F 3 E	//	10	
33	こうふ 南原調 1	移動局	F 3 E	//	10	
34	こうふ 南査察 1	移動局	F 3 E	//	10	
35	こうふ 玉穂ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
36	こうふ 昭和ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
37	こうふ 田富ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
38	こうふ 中道ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
39	こうふ 西指揮 1	移動局	F 3 E	//	10	西消防署
40	こうふ 西ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
41	こうふ 西化学 1	移動局	F 3 E	//	10	
42	こうふ 西救助 1	移動局	F 3 E	//	10	
43	こうふ 西はしご 1	移動局	F 3 E	//	10	
44	こうふ 西水そう 1	移動局	F 3 E	//	10	
45	こうふ 西原調 1	移動局	F 3 E	//	10	
46	こうふ 西査察 1	移動局	F 3 E	//	10	
47	こうふ 貢川ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
48	こうふ 敷島ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
49	こうふ 予備ポンプ 1	移動局	F 3 E	//	10	
50	こうふ 予備ポンプ 2	移動局	F 3 E	//	10	

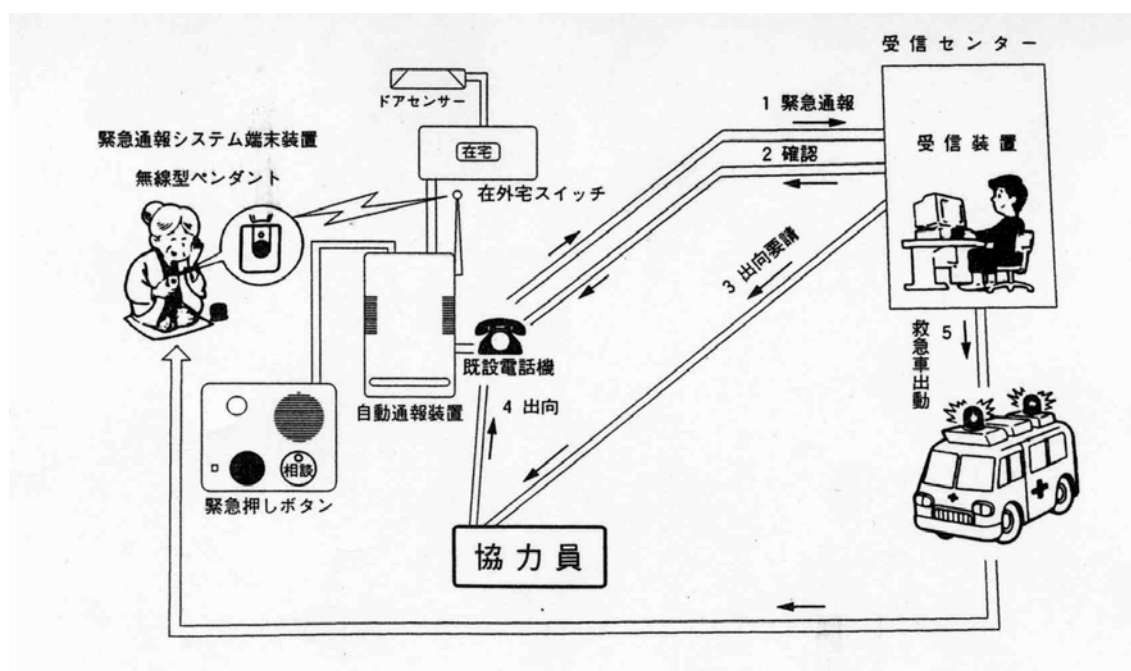
携 帯 無 線 局 配 置 表 (消 防 波)

No.	呼称名	種別	電波型式	周波数 (MHz)	空中線電力 (w)	所 属
0	こうふ しょうぼう	基地局	F 3 E	[148.01 148.29]	10	指令課
1	こうふ 101	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
2	こうふ 102	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
3	こうふ 103	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
4	こうふ 104	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
5	こうふ 105	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
6	こうふ 106	移動局	F 3 E	//	1.0	警 防 課
7	こうふ 107	移動局	F 3 E	//	5.0	指 令 課
8	こうふ 108	移動局	F 3 E	//	5.0	指 令 課
9	こうふ 109	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
10	こうふ 110	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
11	こうふ 111	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
12	こうふ 112	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
13	こうふ 113	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
14	こうふ 114	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
15	こうふ 115	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
16	こうふ 116	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
17	こうふ 117	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
18	こうふ 118	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
19	こうふ 119	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
20	こうふ 120	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
21	こうふ 121	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
22	こうふ 122	移動局	F 3 E	//	5.0	西 消 防 署
23	こうふ 123	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
24	こうふ 124	移動局	F 3 E	//	5.0	西 消 防 署
25	こうふ 125	移動局	F 3 E	//	5.0	西 消 防 署
26	こうふ 126	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
27	こうふ 127	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
28	こうふ 128	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
29	こうふ 129	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
30	こうふ 130	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
31	こうふ 131	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
32	こうふ 132	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
33	こうふ 133	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
34	こうふ 134	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
35	こうふ 135	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
36	こうふ 136	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
37	こうふ 137	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
38	こうふ 138	移動局	F 3 E	//	1.0	西 消 防 署
39	こうふ 139	移動局	F 3 E	//	1.0	警 防 課
40	こうふ 140	移動局	F 3 E	//	1.0	総 務 課
41	こうふ 141	移動局	F 3 E	//	1.0	指 令 課
42	こうふ 142	移動局	F 3 E	//	1.0	南 消 防 署
43	こうふ 143	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
44	こうふ 144	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
45	こうふ 145	移動局	F 3 E	//	5.0	中央消防署
46	こうふ 146	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
47	こうふ 147	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
48	こうふ 148	移動局	F 3 E	//	5.0	西 消 防 署
49	こうふ 149	移動局	F 3 E	//	1.0	中央消防署
50	こうふ 150	移動局	F 3 E	//	5.0	西 消 防 署
51	こうふ 151	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
52	こうふ 152	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
53	こうふ 153	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署
54	こうふ 154	移動局	F 3 E	//	5.0	南 消 防 署

移動無線局配置表（救急波）

No.	呼 称 名	種 別	電波型式	周波数 (MHz)	空中線電力 (w)	所 属
0	きゅうきゅうこうふ	基地局	F 3 E	147.40	10	指 令 課
1	こうふ 中央救急1	移動局	F 3 E	143.40	10	中央消防署
2	こうふ 東部救急1	移動局	F 3 E	//	10	
3	こうふ 予備救急2	移動局	F 3 E	//	10	
4	こうふ 南救急1	移動局	F 3 E	//	10	南 消 防 署
5	こうふ 玉穂救急1	移動局	F 3 E	//	10	
6	こうふ 昭和救急1	移動局	F 3 E	//	10	
7	こうふ 田富救急1	移動局	F 3 E	//	10	
8	こうふ 中道救急1	移動局	F 3 E	//	10	
9	こうふ 予備救急1	移動局	F 3 E	//	10	
10	こうふ 西救急1	移動局	F 3 E	//	10	西 消 防 署
11	こうふ 敷島救急1	移動局	F 3 E	//	10	
12	こうふ 予備救急3	移動局	F 3 E	//	10	

緊急通報装置（ふれあいペンダント） 通報システム図



緊急通報装置（ふれあいペンダント）市町別設置状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

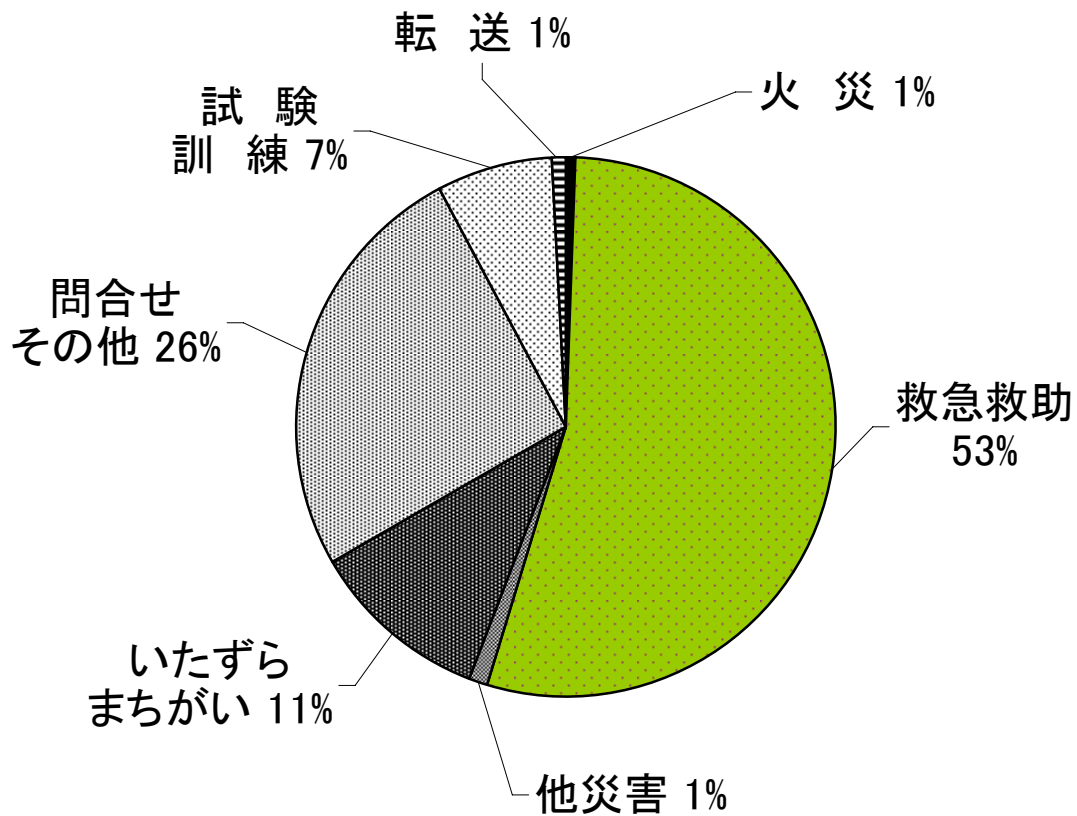
項目 市町別	既 設 数				新 設 数				撤 去 数				現 有 数			
	65歳以上	在宅障害者	合計	リズムセンサー併設	65歳以上	在宅障害者	合計	リズムセンサー併設	65歳以上	在宅障害者	合計	リズムセンサー併設	65歳以上	在宅障害者	合計	リズムセンサー併設
甲府市	1,161	16	1,177	4	101	0	101	0	132	0	132	1	1,130	16	1,146	3
甲斐市	83	5	88	0	6	0	6	0	13	0	13	0	76	5	81	0
中央市	68	0	68	0	9	0	9	0	8	0	8	0	69	0	69	0
昭和町	52	0	52	0	3	0	3	0	6	0	6	0	49	0	49	0
合計	1,364	21	1,385	4	119	0	119	0	159	0	159	1	1,324	21	1,345	3

受信センター市町別受信状況

平成22年1月1日～平成22年12月31日

項目 市町別	通報 総合計 A+B+C	緊急通報装置												救急出場 件数合計 a+b	リズム センサー 確認件数
		緊急通報							相談通報				電源 異常 (C) ※		
		合計 (A)	正報 (救急出場) (a)			誤報			合計 (B)	正報		誤報			
			相談	救急出 場 (b)											
甲府市	846	637	113	端末本体	92	524	端末本体	167	196	4	12	180	13	125	0
				ペンダント	21		ペンダント	357							
甲斐市	101	73	6	端末本体	5	67	端末本体	21	27	0	4	28	1	10	—
				ペンダント	1		ペンダント	46							
中央市	44	32	12	端末本体	12	20	端末本体	13	10	0	2	6	2	14	—
				ペンダント	0		ペンダント	7							
昭和町	89	69	9	端末本体	8	60	端末本体	13	19	0	2	17	1	11	—
				ペンダント	1		ペンダント	47							
合計	1,083	811	140	端末本体	117	671	端末本体	214	255	4	20	231	17	160	0
				ペンダント	23		ペンダント	457							

119番等受信状況



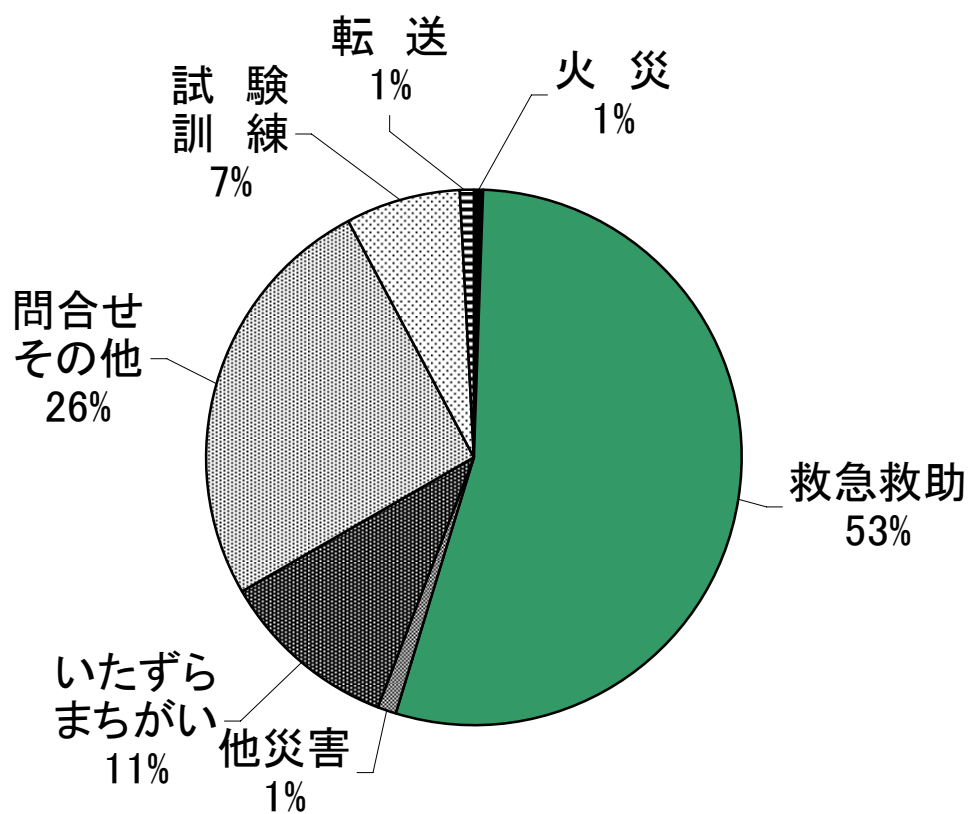
平成22年1月1日～平成22年12月31日

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数 (その他)	23,127 (2,764)	2,009 (251)	1,648 (183)	1,779 (215)	1,729 (225)	1,850 (216)	1,915 (225)	2,153 (273)	2,129 (223)	2,126 (237)	1,968 (253)	1,862 (237)	1,959 (226)
火 災	120	20	8	4	6	6	10	6	12	10	11	13	14
救急救助	12,554	1,108	913	986	962	1,018	971	1,145	1,177	1,056	1,049	1,051	1,118
他災害	245	23	13	20	17	17	9	23	26	22	27	29	19
いたずら まちがい	2,505	204	186	213	221	234	202	218	214	224	228	197	164
問合せ その他	5,934	545	418	444	416	456	477	549	590	650	480	420	489
試 験 訓 練	1,564	100	98	91	90	104	219	199	88	144	156	133	142
転 送	205	9	12	21	17	15	27	13	22	20	17	19	13
1日平均	63.4	64.8	53.2	57.4	55.8	59.7	61.8	69.5	68.7	68.6	63.5	60.1	63.2

※ 火災・救急救助・他災害は重複通報も含みます。

※ () は、その他(119番以外の一般加入電話・駆け付け等)

一般電話・IP電話・携帯電話等からの
119番等受信状況



平成22年1月1日～平成22年12月31日

種別	合計	固定電話		携帯電話	その他 (119番以外)
		一般電話	IP電話		
小計		9,197	3,307	7,859	2,764
総受信数	23,127	20,363			2,764
火災	120	51	15	48	6
救急救助	12,554	5,699	1,955	3,834	1,066
他災害	245	45	9	96	95
いたずらまちがい	2,505	855	194	635	821
問合せその他	5,934	1,732	1,007	2,808	387
試験訓練	1,564	799	121	256	388
転送	205	16	6	182	1

※ その他（119番以外）の欄は、一般加入電話・駆け付け等を示します。

気 象 状 況 （山梨県中北地域）

平成22年1月1日～平成22年12月31日

区 分 \ 月 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天 候 ※	晴	187	25	14	14	12	16	8	13	15	15	10	23	22
	曇	59	0	2	3	5	7	9	5	6	5	12	4	1
	雨	106	2	7	12	11	8	13	13	10	10	9	3	8
	降水量 (mm)	1320.0	10.5	70.0	149.0	141.5	115.5	111.0	138.5	79.5	172.0	185.5	68.5	78.5
	雪	13	4	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	月最深積雪 (cm)	12	-	1	11	0	-	-	-	-	-	-	-	-
気 温 ※	最 高 (℃)	37.5	13.0	20.9	24.3	25.0	31.6	34.0	37.3	37.5	37.4	28.5	21.2	20.5
	最 低 (℃)	-6.5	-6.5	-5.3	-0.7	0.6	5.9	11.6	18.5	22.4	11.0	7.0	-0.4	-4.4
	平 均 (℃)	15.2	3.2	5.3	8.6	11.8	17.6	22.6	26.8	28.3	24.3	17.7	9.7	6.2
湿 度 ※	最 大 (%)	95	95	94	94	93	94	94	94	91	94	95	94	94
	最 小 (%)	8	8	13	9	8	10	16	27	32	25	28	13	15
	平 均 (%)	65	50	64	60	63	62	70	72	69	69	71	65	59
警 報	火災警報	0												
	大雨 // ※	11	0	0	0	0	0	0	2	8	0	1	0	0
	洪水 // ※	11	0	0	0	0	0	0	2	8	0	1	0	0
	大雪 // ※	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注 意 報 ※	乾燥注意報	17	5	1	4	1	2	0	0	0	0	0	0	4
	強風 //	18	3	2	3	2	0	0	0	0	0	1	2	5
	大雨 //	56	0	0	1	1	2	3	14	26	5	3	0	1
	雷 //	94	0	0	1	1	9	16	23	25	10	3	2	4
	洪水 //	48	0	0	0	1	2	3	9	25	5	3	0	0
	大雪 //	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	雪崩 //	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃霧 //	14	2	4	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1
	低温 //	10	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情 報 等	火災気象通報※	116	30	8	17	13	15	3	0	0	0	0	5	25
	大雨・大雪情報	65	2	11	4	4	4	3	18	10	3	2	2	2
	台風 //	17	0	0	0	0	0	0	0	6	5	6	0	0
	地震 //	10	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0	2	1
風速10m/s以上の日数※		26	7	2	6	3	2	0	1	0	0	1	2	2

※甲府地方気象台 データ参照

雨：降っている時間に関係なく、にわか雨のように短時間の場合でも、1日（0時～24時）の雨量が1mm以上の場合。

また、雪やみぞれ混じりの雨の日は、雨の方が多かったり、優勢と判断されるものも含まれる。

雪：1日の積雪量が1cm以上。積雪が1cmに達しないときでも、1日の大半の時間雪が降っていた場合と、雨やみぞれが混じていた場合は、雪の方が多かったり、積雪があったりした日も含まれる。

晴れ：雨、雪に当てはまらない日で1日（3時・9時・15時・21時）の平均雲量が8.4以下。雨が降っても1日の雨量が1mmに満たない日や小雪がちらついていた日が含まれる

曇り：雨、雪に当てはまらない日で1日（3時・9時・15時・21時）の平均雲量が8.5以上。雨が降っても1日の雨量が1mmに満たない日や小雪がちらついていた日が含まれる

月最深積雪：小型積雪計による観測値中の月最大値。（〇は1cm未満、－は積雪なし）。ただし、積雪はあっても観測値中に積雪がなかった場合は観測値を「0」とする。

地震情報：気象庁震度観測点（甲府市飯田）で、震度1以上の震度観測回数。

7

消 防 団

- 消防団の概要
- 消防団員年齢構成
- 消防団員数及び機械一覧表
- 消防団員教養
- 消防ポンプ自動車性能一覧表
- 小型動力ポンプ性能一覧表

消 防 団 の 概 要

消防団員は地域の安心・安全を確保するため消防・防災の中核的存在として昼夜を問わず活躍している。しかし、社会環境の変化に伴い、消防団員数の減少、サラリーマン化や中高年化など様々な問題に直面しています。

こうした諸問題に対し、消防団員の活動環境を整備し、魅力ある消防団とするために自治会や事業所への活動に対しての理解を求めるとともに、各種訓練や研修会を行い団員の技術・資質の向上に努めています。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(平成23年4月1日現在)

年 齢 消防団別	合 計	18 歳 ～ 20 歳	21 歳 ～ 25 歳	26 歳 ～ 30 歳	31 歳 ～ 35 歳	36 歳 ～ 40 歳	41 歳 ～ 45 歳	46 歳 ～ 50 歳	51 歳 ～ 55 歳	56 歳 ～ 60 歳	61 歳 以 上
合 計	2,279	5	60	229	480	618	417	240	114	64	52
甲府市消防団	1,192	0	24	99	200	308	227	141	88	54	51
甲斐市消防団	551	1	14	46	101	143	132	79	24	10	1
中央市消防団	418	4	20	66	135	127	47	18	1		
昭和町消防団	118		2	18	44	40	11	2	1		

※ 甲斐市消防団については、双葉分団を含む。

消防団員数及び機械一覧表

(平成23年4月1日現在)

区 分 消防団別		条 例 定 数	実 員 合 計	階 級							機 械			機 械 置 場	団 本 部 車 両	
				団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	ポン プ 車	可 搬 式			積 載 車
合 計		2,536	2,279	4	13	2	55	91	310	344	1,510	50	141	125	174	4
甲府市消防団	本 部	9	8	1	5	2										1
	富士川分団	25	21				1	2	4	0	14	1	1		1	
	琢美分団	25	19				1	2	2	4	10	1	1		1	
	相生分団	25	15				1	2	3	1	8	1	1		1	
	新紺屋分団	25	23				1	2	5	4	11	1			1	
	穴切分団	25	25				1	2	5	5	12	1	1	1	1	
	湯田分団	25	23				1	2	5	5	10	1			1	
	春日分団	25	25				1	2	5	4	13	1	1		1	
	伊勢分団	30	26				1	2	5	5	13	1	1	1	2	
	朝日分団	25	23				1	2	5	5	10	1	1	1	1	
	里垣分団	45	32				1	2	7	6	16	1	2	2	3	
	相川分団	90	87				1	2	18	17	49		8	6	9	
	国母分団	50	48				1	2	10	10	25	1	2	2	3	
	貢川分団	33	32				1	2	5	5	19	1	1	1	2	
	千塚分団	40	33				1	2	8	7	15	1	2	2	2	
	池田分団	36	36				1	2	5	6	22	1	1	1	1	
	山城分団	90	90				1	2	16	12	59	1	11	10	12	
	玉諸分団	70	70				1	2	13	13	41	1	8	7	8	
	甲運分団	45	45				1	2	8	9	25	1	4	4	5	
	千代田分団	60	56				1	2	12	12	29		6	4	7	
	能泉分団	22	20				1	2	3	2	12		3	2	3	
	宮本分団	39	20				1	2	6	6	5		4	3	4	
	大里分団	70	68				1	2	13	14	38	1	6	5	8	
	東分団	30	27				1	2	6	6	12	1	1	1	2	
	北新分団	25	19				1	2	5	5	6		1	1	1	
	羽黒分団	40	40				1	2	8	6	23		2	2	2	
	右左口分団	57	52				1	2	5	10	34	2	1	1	3	
	滝川分団	52	39				1	2	7	9	20	1	2	2	3	
	下向山分団	43	38				1	2	5	6	24		3	3	3	
白井分団	40	25				1	2	4	7	11	1			2		
上曽根分団	53	52				1	2	10	8	31	1	1	1	2		
下曽根分団	37	35				1	2	7	6	19	1			1		
上九一色分団	27	20				1	2	5	5	7	2	1	1	1		
小 計		1,333	1,192	1	5	2	32	64	225	220	643	27	77	64	97	1
甲斐市消防団		620	551	1	3		10	10	32	79	416	8	20	19	25	1
中央市消防団	団 長		1	1												
	田富分団	465	167		1		3	6	14	14	129	3	14	14	15	
	豊富分団			1		3	6	6	6	127	6	1		6		
	玉穂分団			1		2	4	12	12	70	2	10	10	12	1	
小 計		465	418	1	3		8	16	32	32	326	11	25	24	33	1
昭和町消防団		118	118	1	2		4	1	12	12	86	2	13	13	13	

※甲斐市消防団については、双葉分団を含む。

消 防 団 員 教 養

(平成22年4月1日～平成23年3月31日現在)

甲 府 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	883	9,814	県消防学校入校	7	14
規律訓練	45	656	研修会	8	361
非常招集訓練	1	513			
新入団員器具取扱訓練					

甲 斐 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	17	4,982	県消防学校入校	8	26
規律訓練	17	4,982	研修会	2	8
非常招集訓練	1	112			
新入団員器具取扱訓練					

中 央 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	54	9,835	県消防学校入校	9	20
規律訓練	20	750	研修会	1	25
非常招集訓練	1	136			
新入団員器具取扱訓練					

昭 和 町 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	26	1,494	県消防学校入校	9	16
規律訓練	18	498	研修会	4	104
非常招集訓練	1	118			
新入団員器具取扱訓練					

消防ポンプ自動車性能一覧表

消防団名		種 別	車 体	年 式	排気量	ポ ン プ			購入年月
						メ ー カ ー	型 式	級 別	
甲府市消防団	富士川分団	普通ポンプ車	三菱	S61	3.56	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H18. 3
	琢美分団	普通ポンプ車	いすゞ	H11	4.57	GMいちはら	2段タービン	A 2	H11. 7
	相生分団	普通ポンプ車	いすゞ	H10	4.57	GMいちはら	2段タービン	A 2	H10. 3
	新紺屋分団	普通ポンプ車	いすゞ	S 60	3.26	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H7. 3
	穴切分団	普通ポンプ車	いすゞ	H 7	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H7. 12
	湯田分団	普通ポンプ車	三菱	H 3	4.21	日本機械	2段タービン	A 2	H3. 5
	春日分団	普通ポンプ車	三菱	H 2	4.21	日本機械	2段タービン	A 2	H2. 10
	伊勢分団	普通ポンプ車	日野	H12	4.89	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H12. 8
	朝日分団	普通ポンプ車	三菱	H 6	4.56	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H6. 7
	里垣分団	普通ポンプ車	トヨタ	H 9	4.10	GMいちはら	2段タービン	A 2	H9. 11
	国母分団	普通ポンプ車	いすゞ	H 6	4.33	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H6. 3
	貢川分団	普通ポンプ車	いすゞ	H13	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H13. 7
	千塚分団	普通ポンプ車	トヨタ	H 8	4.10	GMいちはら	2段タービン	A 2	H8. 11
	池田分団	普通ポンプ車	トヨタ	S 62	3.43	日本機械	2段タービン	A 2	S62. 8
	山城分団	普通ポンプ車	いすゞ	H 8	4.57	GMいちはら	2段タービン	A 2	H8. 12
	玉諸分団	普通ポンプ車	三菱	H10	4.56	GMいちはら	2段タービン	A 2	H10.10
	甲運分団	普通ポンプ車	トヨタ	H 4	3.66	GMいちはら	2段タービン	A 2	H4. 2
	大里分団	普通ポンプ車	三菱	H 5	4.21	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H5. 8
	東分団	普通ポンプ車	トヨタ	H 7	3.66	GMいちはら	2段タービン	A 2	H7. 3
	右左口分団	普通ポンプ車	日野	H17	4.00	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H17.10
	右左口分団	普通ポンプ車	トヨタ	H12	4.16	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H12. 3
	滝川分団	普通ポンプ車	三菱	H15	5.24	日本機械	2段タービン	A 2	H15.10
	白井分団	普通ポンプ車	三菱	H11	4.56	日本機械	2段タービン	A 2	H11. 1
	上曽根分団	普通ポンプ車	三菱	H 9	4.56	日本機械	2段タービン	A 2	H 9. 2
	下曽根分団	普通ポンプ車	三菱	H11	4.56	日本機械	2段タービン	A 2	H11. 1
	上九一色分団	普通ポンプ車	日野	H18	4.00	GMいちはら	2段タービン	A 2	H18.12
	上九一色分団	普通ポンプ車	ニッサン	H 6	4.16	日本機械	2段タービン	A 2	H6. 12
甲斐市消防団	竜王分団第1	普通ポンプ車	ニッサン	H11	4.57	日本機械	2段タービン	A 2	H11.12
	竜王分団第2	普通ポンプ車	トヨタ	H 1	3.66	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H1. 9
	竜王分団第3	普通ポンプ車	いすゞ	H20	2.99	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H20.12
	敷島分団第1	普通ポンプ車	日野	H20	4.00	長野ポンプ	2段タービン	A 2	H20. 3
	敷島分団第2	普通ポンプ車	いすゞ	H12	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H12.11
	敷島分団第3	普通ポンプ車	ニッサン	H 5	4.16	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H5. 12
	敷島分団第4	普通ポンプ車	いすゞ	H14	4.77	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H14.12
	敷島分団第5	普通ポンプ車	ニッサン	H 4	4.16	森田ポンプ	2段タービン	A 2	H4. 11
中央市消防団	田富第1分団	普通ポンプ車	日野	H20	4.00	日本機械	2段タービン	B 2	H20. 3
	田富第2分団	普通ポンプ車	日野	H22	4.00	日本機械	2段タービン	A 2	H23. 1
	豊富第1分団	普通ポンプ車	日野	H15	4.89	GMいちはら	2段タービン	A 2	H15. 2
	豊富第1分団	普通ポンプ車	トヨタ	H 8	4.10	GMいちはら	2段タービン	A 2	H8. 3
	豊富第2分団	普通ポンプ車	トヨタ	H10	4.10	GMいちはら	2段タービン	A 2	H10.12
	豊富第2分団	普通ポンプ車	いすゞ	H12	4.57	GMいちはら	2段タービン	A 2	H12.12
	豊富第3分団	普通ポンプ車	日野	H16	4.89	GMいちはら	2段タービン	A 2	H16. 3
	豊富第3分団	普通ポンプ車	いすゞ	H 2	3.63	日本機械	2段タービン	A 2	H2. 12
	玉穂第1分団	普通ポンプ車	いすゞ	H12	3.95	日本機械	2段タービン	A 2	H12.12
	玉穂第2分団	普通ポンプ車	トヨタ	S 63	3.43	日本機械	2段タービン	A 2	S63.10
昭和町消防団本部		普通ポンプ車	トヨタ	S 63	3.43	森田ポンプ	2段タービン	A 2	S63. 2
		普通ポンプ車	いすゞ	H14	4.77	日本機械	2段タービン	A 2	H14.11

小型動力ポンプ性能一覧表

区 別 消防団名		馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
				メーカー	型 式	級 別	
甲 府 市 消 防 団	富士川分団	12	500	ラビット	1段タービン	B3	H 17 . 3
	琢美分団	40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	S 59 . 12
	相生分団	46	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	穴切分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	春日分団	12	500	ラビット	1段タービン	B3	H 17 . 3
	伊勢分団	40	1,180	トーハツ	1段タービン	B3	H 13 . 8
	朝日分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	里垣分団	46	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	里垣分団	62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	相川分団	62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	相川分団	40	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 8 . 1
	相川分団	62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	相川分団	43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 16 . 3
	相川分団	62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	相川分団	40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 12
	相川分団	45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	相川分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 2 . 8
	国母分団	43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 21 . 11
	国母分団	62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	貢川分団	46	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	千塚分団	45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	千塚分団	40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 12
	池田分団	62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	山城分団	62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	山城分団	62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 17 . 3
	山城分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	山城分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	山城分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 10 . 3
	山城分団	43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 14 . 9
	山城分団	40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 12
	山城分団	62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	山城分団	62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	山城分団	32	1,210	トーハツ	1段タービン	B3	H 22 . 10
	山城分団	40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	玉諸分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	S 60 . 8
	玉諸分団	62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	玉諸分団	43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 2
	玉諸分団	62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 17 . 3
	玉諸分団	40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 9 . 3
	玉諸分団	43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 2
	玉諸分団	40	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 8 . 1
	玉諸分団	43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 14 . 9

消防団名		区 別	馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
					メーカ－	型 式	級 別	
甲府市消防団	甲運分団		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	甲運分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 5 . 3
	甲運分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 12
	甲運分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 10 . 3
	千代田分団		46	1,000	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	千代田分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 10 . 3
	千代田分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 18 . 3
	千代田分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 17 . 3
	千代田分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	千代田分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	能泉分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 16 . 3
	能泉分団		40	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 8 . 1
	能泉分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	宮本分団		43	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 9
	宮本分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 5 . 3
	宮本分団		43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 2
	宮本分団		43	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 14 . 9
	大里分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	大里分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 16 . 3
	大里分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	大里分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	大里分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 9 . 3
	大里分団		40	1,180	トーハツ	1段タービン	B3	H 13 . 8
	東分団		46	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 21 . 12
	北新分団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	羽黒分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 17 . 3
	羽黒分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 9 . 3
	右左口分団		40	1,120	シバウラ	1段タービン	B2	H 13 . 9
	滝川分団		38	1,270	ラビット	1段タービン	B2	H 16 . 2
	滝川分団		46	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	下向山分団		56	1,130	シバウラ	1段タービン	B3	H 11 . 12
	下向山分団		55	1,260	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 3
	下向山分団		55	1,260	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 3
	上曽根分団		30	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 9 . 2
	上九一色分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 4 . 11
甲斐市消防団	竜王分団第1		53	1,277	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜王分団第1		53	1,277	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜王分団第1		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 3 . 12
	竜王分団第2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 8 . 12
	竜王分団第2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 5 . 12
	竜王分団第2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜王分団第2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 11
	竜王分団第3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 5 . 12
	竜王分団第3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 11
	竜王分団第3		53	1,277	ラビット	1段タービン	B3	H 4 . 12
	敷島分団第1		46	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 3
	敷島分団第1		46	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 18 . 3
	敷島分団第2		62	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 8

消防団名		区 別	馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
					メーカー	型 式	級 別	
甲斐市消防団	敷島分団第2		55	1,300	トーハツ	1段タービン	B2	S 60 . 3
	敷島分団第2		53	1,300	トーハツ	1段タービン	B2	H 13 . 3
	敷島分団第2		62	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	敷島分団第3		40	1,300	トーハツ	1段タービン	B3	S 50 . 4
	敷島分団第3		58	1,300	トーハツ	1段タービン	B3	H 12 . 12
	敷島分団第5		53	1,300	トーハツ	1段タービン	B3	H 12 . 3
	敷島分団第5		46	1,280	ラビット	1段タービン	B3	H 18 . 3
中央市消防団	田富第1分団第1部		51	1,000	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 8
	田富第1分団第2部		52	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 15 . 12
	田富第1分団第3部		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	S 59 . 6
	田富第1分団第5部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 19 . 2
	田富第1分団第13部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	田富第2分団第6部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 19 . 2
	田富第2分団第7部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 19 . 2
	田富第2分団第8部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 8
	田富第2分団第12部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	田富第3分団第9部		51	1,000	シバウラ	1段タービン	B3	H 16 . 12
	田富第3分団第10部		46	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 20 . 3
	田富第3分団第11部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 8
	田富第3分団第11部		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	S 62 . 8
	田富第3分団第14部		30	1,000	トーハツ	1段タービン	B3	S 59 . 7
	本 部		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 1 . 9
	玉穂第1分団第1部		46	1,000	シバウラ	1段タービン	B2	H 14 . 3
	玉穂第1分団第2部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	玉穂第1分団第4部		62	1,300	トーハツ	1段タービン	B2	H 21 . 12
	玉穂第1分団第5部		45	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 14 .
	玉穂第1分団第6部		45	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 14 .
	玉穂第2分団第8部		53	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 6 . 6
	玉穂第2分団第9部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 4 . 7
	玉穂第2分団第10部		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 13 . 3
	玉穂第2分団第11部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 10 . 3
	玉穂第2分団第12部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 9 . 3
昭和町消防団	第1部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第2部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第3部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第4部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第5部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第6部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第7部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第8部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第9部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第10部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第11部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第12部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	本 部		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 14 . 4

平成22年版 消防年報

平成23年6月発行

甲府地区広域行政事務組合消防本部

〒400-0856 甲府市伊勢三丁目8番23号

電話 055-222-1190

Fax 055-222-7583

Email info@kfd.or.jp